

IV 委員会活動報告

1. 学生センター部門

(1) 教務委員会

1) 全学教務委員会 (構成員：教員9名・事務局7名 計16名)

各学部選出委員および教務課職員を構成員とする全学教務委員会は、短期大学部も含めた教学に関わる学部横断的課題・事項に関する審議・決定機関であり、さらに、共通教養・キャリア教育・資格取得支援・基礎給育の各センター運営部会をも統括している。日常的には教務関連事項の円滑かつ適切な運営を基本としつつ、教学を巡る学内外の状況および動向を的確に捉え、その充実に必要な諸課題の把握、対応に努めることおよび、各種報告事項などについても適宜取り扱い、情報の全学的共有化を図ってきている。

今(平成29)年度もまた、日常的な教務事項の推進に取り組むと共に、それに伴って確認、整理された諸課題について慎重に審議し決定することを中心に、報告事項についても適時・適確に周知を図るべく取り組んできた。また、今年度の特徴として、共通教養センター運営部会の対象範囲である全学共通教養教育(科目)の関連諸事項についても、後述のとおり当委員会において扱い適切に対応してきた。なお、その概略は、当委員会の報告後に取り纏めている。

以下、「(a) 委員会開催」として、年間を通じた各回の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を、さらに「(b) 事業・活動」として、(1) 教学関連事項の全学的共通化、(2) 教学関係諸規程の制定・改正・変更・廃止、(3) 次期認証評価対応、(4) 私立大学等改革総合支援事業への対応、(5) その他、の5点にまとめ今年度の活動状況を概述する。

(a) 委員会開催

第1回 平成29年4月20日(木) 15:10~16:00 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) 学事関連事項の取組スケジュールの審議および決定
- (2) 平成29年度の課題について確認
- (3) 平成30年度の年間予定について検討
- (4) オーストラリア(ニューカッスル大学)への引率者について確認、決定

〔報告事項〕

- (1) 全学共通科目の履修状況について
- (2) 平成25年度入学生の卒業状況について

第2回 平成29年5月10日(水) 17:00~18:45 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 平成30年度の年間予定について審議、一部確定
- (2) オーストラリア(ニューカッスル)への引率者について審議、確定
- (3) 年度を跨いだ進級に関する規程の運用変更について審議、承認
- (4) 未修得10単位以下留年生の学費減免(制度)の運用変更について審議、継続

〔報告事項〕

- (1) 教育実習者について
- (2) 平成28年度学生の成績状況について
- (3) プレイメントテストの結果について
- (4) 入学前セミナーのアンケート結果について

(5) 資格取得支援センター運営部会報告

第3回 平成29年6月7日(水) 17:00~17:50 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) 平成30年度の年間予定について審議、一部確定
- (2) 年度を跨いだ進級に関する規程の運用変更について審議、承認
- (3) 未修得10単位以下留年生の学費減免(制度)の運用変更について審議、継続
- (4) 次期認証評価を踏まえた対応について検討
- (5) 交換留学生(科目等履修生)のゼミ履修について検討

〔報告事項〕

- (1) 基礎教育センター運営部会報告
- (2) 海外研修Iについて
- (3) 前期定期試験アンケートについて

第4回 平成29年7月5日(水) 17:00~18:05 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 平成30年度の年間予定について審議、確定
- (2) 未修得10単位以下留年生の学費減免(制度)の運用変更について審議、承認
- (3) 交換留学生(科目等履修生)のゼミ履修について審議、承認
- (4) 次期認証評価を踏まえた対応の検討

〔報告事項〕

- (1) 後期オリエンテーションについて
- (2) 前期試験について
- (3) 前期成績発表後の学生指導の徹底について
- (4) 出欠登録・オフィスアワー実施記録の提出について
- (5) 後期の予定について

第5回 平成29年9月8日(金) 14:00~16:10 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 留年生の学費減免制度要項について審議、承認
- (2) 松本大学進級規程および松本大学松商短期大学部進級規程の一部改正について審議、承認
- (3) 各学部の平成30年度カリキュラムの検討状況の確認
- (4) 平成30年度の科目兼任依頼について検討、一部保留の上、承認
- (5) 「地域企業特論」の担当者について確認
- (6) 私立大学等改革総合支援事業への対応について検討
- (7) 次期認証評価を踏まえた対応について検討
- (8) Jアラート発令時の対応について検討、確定
- (9) 編入希望者に対する科目等履修の取り扱いについて審議、継続

〔報告事項〕

- (1) 教職センター会議報告
- (2) 基礎教育センター運営部会報告
- (3) 後期オフィスアワー日時について
- (4) TOEICテストの実施報告
- (5) 次年度準備について

第6回 平成29年10月4日(水) 17:00~18:55 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) クラスサイズに関する内規改正案について審議、承認
- (2) 裁判員制度に係る出席の取り扱いについて審議、承認
- (3) 各学部の平成30年度カリキュラムの検討状況について検討
- (4) 平成30年度の科目兼任依頼について検討、承認
- (5) 私立大学等改革総合支援事業への対応について検討
- (6) 次期認証評価を踏まえた対応についてロードマップ等確認
- (7) 平成30年度前期オリエンテーションについて検討
- (8) 特待生が交換留学をする場合の審査基準について審議、承認
- (9) 成績優秀表彰の審査基準について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 後期履修者状況
- (2) 教職センター会議報告
- (3) 次年度準備について

第7回 平成29年11月1日(水) 17:00~19:30 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) 各学部の平成30年度カリキュラムの検討状況について審議、継続
- (2) 平成30年度の科目兼任依頼の一部変更について審議、承認
- (3) 平成30年度時間割案について審議、一部継続の上、承認
- (4) 私立大学等改革総合支援事業への対応について検討
- (5) 次期認証評価を踏まえた対応についてシラバスのあり方検討
- (6) 平成30年度前期オリエンテーションについて審議、承認
- (7) 前回承認済みの成績優秀表彰の審査基準の一部修正について審議、承認
- (8) 前回承認済みの特待生が交換留学をする場合の審査基準の一部修正について審議、承認
- (9) 各種規程の改廃について検討
- (10) 平成30年度転学部・転学科試験について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 教職センター会議報告
- (2) 次年度準備について

第8回 平成29年12月6日(水) 17:00~18:30 欠席2名

〔審議事項〕

- (1) 各学部の平成30年度カリキュラムの検討状況について審議、承認
- (2) 平成30年度の科目兼任依頼の一部変更について審議、承認
- (3) 平成30年度時間割案の前回一部継続部分の審議、承認
- (4) 平成30年度教務学事関連事項のスケジュール案について審議、承認
- (5) 私立大学等改革総合支援事業への対応について検討
- (6) 次期認証評価を踏まえた対応について質保証のあり方検討
- (7) 前回示された各種規程の改廃について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 教職センター会議報告
- (2) シラバス入稿について
- (3) 次年度準備について

第9回 平成30年1月10日(水) 17:00~17:50 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) 全学共通教養科目非常勤担当者の変更について審議、承認
- (2) 平成30年度の科目兼担依頼の一部変更について審議、承認
- (3) 平成30年度時間割案の前回一部継続部分の審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 後期試験について
- (2) 就職活動に伴う証明書の発行について
- (3) 成績不審者の全学的な対応について
- (4) オフィスアワー実施記録の提出について
- (5) 次年度準備について

第10回 平成30年2月7日(水) 13:30~14:30 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 平成30年度時間割案の最終確認
- (2) 平成30年度の科目兼担依頼の一部追加について審議、承認
- (3) 平成30年度カリキュラム・ツリー、履修モデルの確認
- (4) 平成31年度年間予定案について検討
- (5) 今年度の振り返りおよび次年度の目標について意見交換
- (6) 「防災論」の履修取り扱いについて審議、承認
- (7) 「異文化理解」の短期大学部への科目追加について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 専門員の授業支援について(全学協議会報告)
- (2) キャリア教育センター運営部会報告
- (3) 転学部・転学科試験について
- (4) 適正な出欠管理について
- (5) English Caféについて
- (6) 次年度準備について

(b) 事業・活動

(1) 教学関連事項の全学的共通化

- ・全学共通教養科目実施状況の点検
- ・年年度を跨いだ進級に関する規程の運用変更について確定
- ・未修得10単位以下留年生の学費減免(制度)の運用変更について確定
- ・交換留学生(科目等履修生)のゼミ履修について確定
- ・Jアラート発令時の対応について確定
- ・裁判員制度に係る出席の取り扱いについて確定
- ・成績優秀表彰の審査基準の一部修正の確認
- ・補講申請方法の変更

(2) 教学関係諸規程の制定・改正・変更・廃止

以下の各規程について制定並びに変更・廃止が承認され、全学協議会、理事会に上程することが承認された。

- ・松本大学学業成績優秀者表彰規程(案)
- ・松本大学松商短期大学部学業成績上位者表彰規程(案)
- ・松本大学長期履修学生規程(案)
- ・松本大学松商短期大学部長期履修学生規程(案)
- ・松本大学学則変更(案)

- ・松本大学松商短期大学部学則変更(案)
- ・教育学部履修細則(案)
- ・松本大学長期在学計画学生制度に関する内規の廃止
- (3) 次期認証評価対応
 - ・シラバスのあり方検討
 - ・教育の質保証の検討
 - ・その他の課題の洗い出し
- (4) 私立大学等改革総合支援事業への対応
 - ・外国語のクラスサイズ減
 - ・外部試験結果による語学科目の単位認定
 - ・English Caféの実施
 - ・履修証明プログラムの検討
- (5) その他
 - ・年度別退学分析と学生指導の強化
 - ・入学年度別卒業率・退学率・留年率の分析
 - ・プレースメントテストの結果分析
 - ・教職課程の再課程認定への対応
 - ・キャリアセンターとの協力・共同による入学前セミナーの実施
 - ・入学式当日の新生保護者対象説明会の実施
 - ・短期大学部の4学期制本格実施に向けた対応
 - ・適正な出欠管理に関する周知・徹底(通知)
 - ・履修登録抹消期限の短期化(3週目までに) 他

2) 共通教養センター運営部会 (構成員: 教員6名、事務局5名 計11名)

共通教養センター運営部会は、既述のように、今(2017)年度より「部会」として全学教務委員会の下におかれ、上記のとおり、総合経営・人間健康・教育各学部および短期大学部から選出された委員6名と教務課職員5名の計11名によって構成されている。

当センターの主たる任務は、過去数年にわたる議論を経て昨年度確定された、現代的な課題・テーマで複数の科目を括ることによって学ぶべき対象・内容をより分かりやすく表現し、学生の学びを促し深めることを企図した「モジュール方式」を採用した全学共通教養科目(群)を円滑に運営し、生起する諸課題に迅速かつ適切に対応していくことである。

新方式発足1年目の今年度は、この点を重視して状況の把握・観察に努める1年であったが、格段の問題がなかったことから運営部会は開催していない。とはいえ、既述の全学教務委員会において、概略、以下のような事柄をその都度取り扱い適宜審議・決定し、報告してきた。

- ① 共通教養科目の履修状況の点検(4月20日開催の第1回全学教務委員会)
- ② 「海外研修」のオーストラリア・ニューカッスル大学短期留学の引率者の募集・調整・決定
(5月10日開催の第2回全学教務委員会)
- ③ 来年度の「地域企業特論」担当者の調整と決定(9月8日開催の第5回全学教務委員会)
- ④ 各学部の来年度カリキュラム並びに時間割に関する審議と承認(10月4日開催の第6回・11月1日開催の第7回・12月6日開催の第8回・平成30年2月7日開催の第10回各全学教務委員会など)
- ⑤ 来年度の共通教養科目担当非常勤講師および兼任の調整・依頼・確定(10月4日開催の第6回・12月6日開催の第8回・平成30年2月7日開催の第10回各全学教務委員会など) 他

3) キャリア教育センター運営部会

(a) 業務内容

今年度は、教育学部が開学し、短期大学部を含めて4学部体制となった。各学部のキャリア教育に関し

では、各学部でのカリキュラム改革等による成果を把握する必要があったことから、目立った活動を行わなかった。しかしながら、松商短期大学部においては、就職委員会業務のキャリア教育センターへの移管により、キャリア教育と就職支援の棲み分けが進み、平成30年度からのカリキュラムに反映させることができた。

(b) 活動内容

本年度は、2017年1月18日（水）に運営部会を開催した。

4) 資格取得支援センター運営部会

資格取得支援センターは、本学学生の検定資格取得の支援とその管理、および公務員資格取得の支援を行うことを目的としている。

(a) 検定資格取得の支援と管理

検定資格取得の支援は「資格奨励金制度」の運用であり、その管理は奨励金支給資格および奨励金給付額の見直しである。いずれも、平成27（2015）年度から始まった「資格奨励金支給制度」の学生にとっての効果的な運用を課題としている。今年度は、前年度までの奨励金支給資格および給付金額の見直しにもとづき改訂された「資格奨励金一覧表」にもとづき、以下の通りの奨励金の給付を行った。

2017年度 前期 資格奨励金給付状況

資格名	奨励金	総経	人間	教育	短大	合計	給付額
日商簿記検定2級	10,000				2	2	20,000
全経簿記能力検定1級会計	5,000				1	1	5,000
全経簿記能力検定1級工業簿記	5,000				3	3	15,000
情報処理技術者試験（表計算1級）	1,000	43	2		9	54	54,000
ホームページ作成検定1級	1,000				30	30	30,000
日本語ワープロ検定1級	3,000				2	2	6,000
Microsoft Office Specialist (Word)	5,000				43	43	215,000
ビジネス文書検定試験2級	3,800				2	2	7,600
色彩検定3級	3,500				1	1	3,500
FP技能士3級（学科）	10,000	3			1	4	40,000
FP技能士3級（実技）	10,000	1				1	10,000
国内旅行業務取扱管理者試験	30,000	1				1	30,000
販売士検定3級	4,100	7			2	9	36,900
福祉住環境コーディネーター3級	2,500				2	2	5,000
TOEIC（600以上）	20,000	2		1		3	60,000
ニュース時事能力検定試験準2級	3,000	2				2	6,000
ニュース時事能力検定試験2級	10,000				1	1	10,000
合計		59	2	1	99	161	554,000

2017年度 後期 資格奨励金給付状況

資格名	奨励金	総経	人間	教育	短大	合計	給付額
日商簿記検定2級	10,000				6	6	60,000
全経簿記能力検定1級会計	5,000				3	3	15,000
全経簿記能力検定1級工業簿記	5,000				8	8	40,000

基本情報技術者試験	30,000	1			1	30,000	
情報処理技術者試験(表計算初段)	3,000			36	36	108,000	
情報処理技術者試験(表計算1級)	1,000	2		90	92	92,000	
情報処理技術者試験(データベース1級)	1,000			11	11	11,000	
ホームページ作成検定1級	1,000	20			20	20,000	
日本語ワープロ検定1級	3,000			1	1	3,000	
Microsoft Office Specialist (Power P)	5,000			7	7	35,000	
文書デザイン検定試験1級	1,000			31	31	31,000	
色彩検定3級	3,500			5	5	17,500	
FP技能士3級(学科)	10,000	13		21	34	340,000	
FP技能士3級(実技)	10,000	13		16	29	290,000	
FP技能士2級(学科)	15,000	2		2	4	60,000	
FP技能士2級(実技)	15,000	2		1	3	45,000	
国内旅行業務取扱管理者試験	30,000	6			6	180,000	
総合旅行業務取扱管理者試験	50,000	1			1	50,000	
宅地建物取引主任者	50,000	1			1	50,000	
証券外務員2種	30,000			2	2	60,000	
証券外務員1種	50,000		3	2	5	250,000	
販売士検定3級	4,100			12	12	49,200	
アシスタント・ブライダル・コーディネーター3級	2,000			2	2	4,000	
TOEIC (600以上)	20,000	2		1	3	60,000	
TOEIC (700以上)	※10,000	1	1		2	20,000	
ニュース時事能力検定試験準2級	3,000			4	4	12,000	
ニュース時事能力検定試験2級	10,000	3		4	7	70,000	
合 計		67	4	-	265	336	2,002,700

※1回目で700以上の場合は30,000円、前に600以上で給付されている場合は差額の10,000円を給付

(b) 公務員資格所得の支援

本学の教育の使命・目的である「地域社会に貢献できる人材の育成」を、地元自治体への人材輩出という形で具現化するために、前年度に引き続き、(株)LEC 東京リーガルマインドの全面的協力を得て「公務員試験対策講座」を開設し、本学学生の公務員への就職支援に取り組んだ。今年度の講座開設状況と受講学生数は以下のとおりである。

2017年度 公務員試験対策講座

対象学年	講座名	受講者数	開講期間 (回数)
学部4年	実践演習講座	9名	2/20~3/31 (全30回)
学部3年	基礎教養講座	16名	4/12~7/26 9/27~1/17 (全30回)
	基礎専門講座	6名	4/11~7/25 9/26~1/23 (全30回)
学部2年	プレ基礎教養講座	23名	4/11~7/25 9/22~1/19 (全30回)
	プレ基礎専門講座	15名	4/12~7/26 9/27~1/17 (全30回)
学部1年	入門講座	33名	6/5~7/3 9/25~1/22 (全20回)
短大2年	実践演習講座	5名	4/13~9/20 (全25回)
短大1年	入門講座	26名	5/12~9/19 9/28~1/25 (全30回)
全	夏期集中講座	9名	8/17~8/25 (全16回)

開講4年目となった今年度の講座は、例年を上回る着実な合格実績へとつながっている。今年度の公務員就職実績は以下のとおりである。

2017年度 公務員就職実績

学 科	職 名	人 数
総合経営	安曇野市役所	1名
	天龍村役場	1名
	長野県警察	2名
	松本市役所(嘱託)	1名
観光ホスピタリティ	越谷市役所	1名
	長野県警察	1名
	新潟県警察	1名
	松本市役所(嘱託)	1名
	松本市立博物館(嘱託)	1名
健康栄養	糸魚川市役所	1名
スポーツ健康	松本市役所	1名
	警視庁	1名
	長野県警察	2名
松商短大部	自衛官	1名
	長野県警察	1名
	大町市役所(嘱託)	1名
合 計		18名

5) 基礎教育センター運営部会

(構成員：教員6名、基礎教育センター所属専門員4名、事務局3名 計13名)

基礎教育センター運営部会は、今(2017)年度より「部会」として全学教務委員会の下におかれ、上記のとおり、総合経営・人間健康・教育各学部から選出された委員6名に、基礎教育センター所属専門員4名と事務局員3名の計13名によって構成されている。

当センターの主たる任務はリメディアル教育にあるが、この間、各学部・学科のキャリア系科目並びに基礎あるいは入門ゼミにおいても教養教育部分の担当という形で携わってきた。しかしながら、この点については「教育の質保証」および「単位認定権」といった観点から見直しが求められており、今年度は、その解決・解消が重要課題として位置づけられ取り組んだ1年であったといえよう

以下、「(a) 委員会開催」として、年間を通じた各回の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を、さらに「(b) 事業・活動」として、(1) 朝の学習講座の実施、(2) 基礎教育センター所属教員の「専門員」への呼称変更とその授業支援の上限設定、(3) 各種課題・問題集の実施、(4) 漢字検定、ニュース検定、数学検定、英語研定、TOEICテスト受験学生に対する指導、(5) 他部署からの要請に基づく各種協力、(6) 基礎教育センターだよりの発行(年2回)の6点にまとめ、今年度の活動状況を概述する。

(a) 委員会開催

第1回 平成29年5月15日(月) 16:50~18:00 欠席1名

〔報告事項〕

- (1) 新入生プレイスメントテストの結果について
- (2) 朝の学習講座について
- (3) 基礎教育センターの関わる授業(前期分)について
- (4) 漢字検定とニュース検定の申込み人数について

- (5) 各課題の提出状況と返却方法について
- (6) 平成29年度センターの休日設定について

第2回 平成29年7月13日(木) 16:50~17:10 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 入学前学習用問題集・春季課題集の実施について審議、承認
- (2) 基礎教育センターだよりについて審議、承認
- (3) 基礎教育センター所属教員の学外業務について審議、承認
- (4) 教員採用試験模擬面接への協力について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 基礎教育センターの授業について
- (2) 朝の学習講座について
- (3) 各種検定について
- (4) 各課題について

第3回 平成29年11月10日(金) 16:50~17:30 欠席2名

〔審議事項〕

- (1) 平成30年度の各課題の実施について説明、確認
- (2) 春季課題・問題集のマークシート化について検討
- (3) 平成30年度の基礎教育センターの授業への関わりについて検討

〔報告事項〕

- (1) 下記課題問題集と復習テストについて
- (2) 基礎教育センターの関わる授業（後期分）について
- (3) 各種検定の実施状況について
- (4) 朝の学習講座、センター利用について

第4回 平成30年2月2日(金) 11:20~12:10 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 平成30年度の2年生課題の実施について検討
- (2) 下記報告(1)を踏まえての、平成30年度の基礎教育センター専門員による授業支援の内容について確認、承認
- (3) 各種検定の方向性について審議、承認
- (4) 基礎教育センター専門員のLEC公務員講座への協力について審議、承認
- (5) Web教材の利用について審議、否決
- (6) 基礎教育センター専門員の学外業務について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 基礎教育センター所属教員の呼称（専門員）および授業支援について
- (2) 春季課題問題集の実施について
- (3) 朝の学習講座、センター利用について

(b) 事業・活動

- (1) 朝の学習講座の実施
2年生以上の学生の参加が増加している。
- (2) 基礎教育センター所属教員の「専門員」への呼称変更とその授業支援の上限設定
基礎教育センター所属教員の呼称が専門員と定められると共に授業支援の上限を3分の1未満とすることになり、平成30年度分についてはそれに沿って確認がなされた。

- (3) 各種課題・問題集の実施
学部・学科の要請を受けて実施した。
- (4) 漢字検定、ニュース検定、数学検定、英語研定、TOEICテスト受験学生に対する指導
- (5) 他部署からの要請に基づく各種協力
 - ・教員採用試験模擬面接への協力
 - ・公務員試験対策講座（教養）の一部担当
- (6) 「基礎教育センターだより」の発行（年4回）
- (7) その他

(2) 教育改善推進委員会

教育改善推進委員会は、教育企画推進部会とFD・SD運営部会からなり、研究科・学部・学科単位での教育の企画推進と教育改善および職員の業務改善のための活動を支援している。

1) 教育企画推進部会

各学部・学科の当年度の取組は以下の通りである。なお、教育学部については新設のため当初予算には組み込まれておらず、年度末の補正予算での対応となった。

①総合経営学部観光ホスピタリティ学科

「国内旅行業務取扱管理者・社会福祉士の資格取得強化策の取組」

観光ホスピタリティ学科では、学科開設以来関連する資格取得に取り組んできており、とりわけ、国内旅行業務取扱管理者試験、社会福祉士（国家資格）は、基幹資格と位置付け重点的に対策等を行ってきている。今年度も昨年に引き続き、対策強化の観点から対策講座の内容を充実させることに取り組んだ。一つは教員の指導法の強化であり、あわせて学生の勉強法の見直しを図った。また、資格受験のプロに講師をお願いして両方の観点から指導を仰いだ。

②人間健康学部健康栄養学科

「管理栄養士国家試験受験支援」

管理栄養士国家試験の合格のためには、一定間隔で全国模試を受験して、その成績から自分の全国的な成績順位や偏差値、またその経時変化を把握し、それを平素の試験対策の学びに活かす必要がある。当年度4年生（8期生）については医歯薬研修協会実施の模擬試験を4回、インターメディカル実施の模擬試験を3回受験したが、そのうち各1回分の受験料を当教育企画推進経費で支援した。また当年度3年生（9期生）に関しても例年1月に4年生と同じ模擬試験を受験（「総合栄養学演習II」の成績判定に利用）しているが、この受験料についても併せて支援した。

③人間健康学部スポーツ健康学科

「大学入門ゼミナールでの学習手法の習得と学習時間の獲得」

スポーツ健康学科の初年時教育である「大学入門ゼミナール」は、高校教育から大学教育へ移行していく上での導入部分を担う重要な科目であり、学生と教員のコンタクト促進と能動的な学習手法、学習時間の確保の大切さ等について実践をもって身につけていく有意義な機会となっている。この授業における教員の負担軽減、学生の知識共通化を図るために、昨年度に引き続き、効果的な教材（問題集）を購入し、またその効果測定のために業者テストを実施した。

④教育学部学校教育学科

「留学への動機を高めるための国内英語留学体験-British Hills訪問-」

教育学部の1年生に対し、①英語使用に対してのハードルを低くするため、②また英語の使用が楽しいと感じてもらい、教育実習などで英語を積極的に使用していくため、③これらの異文化体験（英語使用）を通し、周囲の友人への影響を与えるため、④2年次や3年次にこれらの動機づけから、短期留学に結び付け、英語を使用できる、また異文化体験について語ることでできる小学校教員を養成するために、また、中学校・高等学校英語教員免許一種の取得が可能になったことから、それらの学生の留学へのステップとなる可能性も考慮して、9月10日から13日までの3泊4日で本学科1年生16名が福島県・羽鳥自然

公園の海拔1,000メートルの森に位置するBritish Hillsを訪問した。

⑤松商短期大学部商学科・経営情報学科

「オリジナルテキストの作成」および「情報処理検定の受検支援」

オリジナルテキストは、本学の在学生への最適な水準の授業提供を目的とした、両学科専任教員の手による独自テキスト作成の取り組みであり、平成24年度から実施している。これまでに11冊（001～011）が完成、シリーズ化されてきているが、今年度は、001「海外旅行入門」の増刷を行った。また、情報処理検定の受検支援として、一部未整備であったソフトウェア「ホームページビルダー」を追加整備し、学生の検定受検対策における学習意欲向上にとって大きな貢献となった。

2) FD・SD運営部会

FD・SD運営部会は、前年までの活動を継続しつつ、さらにより良い教育となるよう活動を見直しながら推進した。

(a) 委員会開催

・平成29年4月20日（木）15：10～16：10

自己点検・評価報告書、授業アンケート、授業参観、卒業生アンケート質問項目、学内研修会などについて議論した。

(b) 事業・活動

①授業アンケート

通常の15回の授業中、およそ6～9回目の授業において中間アンケート、および、およそ13回目授業以降に「授業についての学生アンケート（授業アンケート）」を実施するよう依頼した。中間アンケートはすべての授業での実施を依頼し、内容は自由であるが、平成25年度に作成された雛形を任意で使用するよう配布した。授業アンケートは、専任教員においては前後期各2科目程度、および、非常勤教員の全科目において実施した。

アンケートのデータ集計後には、各授業担当者に「改善計画等」の記入を依頼した。同様に、各区分別集合データには学長、学部長、学科長、全学教務委員長などに「改善計画等」の記入を依頼した。以上の内容について点検および校正の後、「授業についての学生アンケート集計報告書～分かりやすい授業を目指して～」の松本大学版、および、松本大学松商短期大学部版を発行した。

今年度からは、授業外学習についての質問の時間設定をそれぞれ2倍にし、最大で2時間以上、最低で30分未満という設定に変更した。

②授業改善活動

授業改善活動として、授業全期間を対象として教員の授業参観への参加を促した。

前期においては全専任教員90名（助手を除く）中、25名から「授業参観アンケート用紙」が提出され、参加率は27.8%であった。後期においては、89名中22名から提出があり、参加率は24.7%であった。

③卒業生等へのアンケート

各学部の「卒業生アンケート」および松商短期大学部の「在学生アンケート」について、一部質問項目を見直し、後期末のオリエンテーションで実施した。集計し、個人名の秘匿などチェックの後、自己点検・評価報告書に掲載される。

前年度（平成28年度）実施のアンケート結果をもとに、一部の部署で、教育活動や学校運営業務の改善についてディスカッションが実施された。

④FD・SD活動

5月31日（水）に「2017年度新入生プレイズメントテスト結果について」と題したFD・SD研修会を開催した。講師は住吉廣行学長であった。参加者は、専任教員54名、職員24名であった。

8月4日（金）に「科研費の採択を目指して～申請書のどのような点に気をつければよいのか?～」と題したFD・SD研修会を開催した。講師は久留米大学の児島将康教授であった。参加者は、専任教員46

名、職員5名、大学院生6名、外来者7名であった。

9月12日(火)に実施された松商短大第2回APフォーラムにおける「大学におけるパフォーマンス評価の理論と方法～何のためのルーブリックか～」をもとにFD・SD研修会を開催した。講師は京都大学の松下佳代教授であった。参加者は、専任教員41名、職員12名、外来者39名であった。

12月4日(月)に「高大接続改革～大学入学者選抜改革の動き～」と題したFD・SD研修会を開催した。講師は(株)KEIアドバンスの神部悟氏であった。参加者は、専任教員21名、職員18名であった。

3月1日(木)に実施された松商短大第3回APフォーラム中における「金沢工業大学の教育改革とAP(金沢工業大学・福田謙之教授)」および「京都光華女子大学短期大学部の教育改革とAP(京都光華女子大学短期大学部・相場浩和教授)」をもとにFD・SD研修会を開催した。参加者は、専任教員29名、職員12名、外来者23名であった。

各部局でのFD・SD活動は、松商短大部で2回、事務局で12回実施された。

以下の外部でのFD・SD研修にも参加した。

- ・8月25日(金)新潟国際情報大学との合同SD
- ・8月30日(水)豊橋創造大学との合同SD
- ・9月22日(金)清泉女学院大学、諏訪東京理科大学との合同SD
- ・11月4日(土)～5日(日)大学人サミット
- ・2月17日(土)大学行政管理学会北関東・信越地区研究会

⑤新人研修

新人研修を実施するよう、新任者のいる学部長および事務局長に依頼した。

(3) 教職センター運営委員会

(a) 平成29年度履修状況

学部	学科	1年	2年	3年	4年	合計
総合経営学部	総合経営学科	2	3	1	2	
	観光ホスピタリティ学科	9	11	4	4	
人間健康学部	スポーツ健康学科	32	32	18	29	
	健康栄養学科	5	0	7	2	
合計		48	46	30	37	161

(平成29年12月31日現在)

(b) 会議開催

【全学】

- ・全学教職センター運営委員会 4回 4/19(水)、9/28(木)、12/15(金)、3/15(木)
- ・教員免許状更新講習準備委員会 2回 9/29(金)、11/1(水)

【総合経営学部・人間健康学部】

- ・教職センター専任会議 13回 4/12(水)、5/10(水)、5/24(水)、6/7(水)、7/5(水)、8/2(水)、9/20(水)、10/4(水)、11/1(水)、12/6(水)、1/17(水)、2/7(水)、3/7(水)
- ・教育実習支援会議 3回 4/19(水)、1/31(水)、2/28(水)
- ・教職科目担当代表者会議 2回 10/11(水)、1/31(水)
- ・教員採用試験対策支援会議 2回 10/11(水)、2/28(水)
- ・小学校教諭二種免許状取得支援プログラム会議 なし

【教育学部】

- ・教職支援センター専任会議 6回 10/26(木)、11/30(木)、12/21(木)、1/25(木)、2/22(木)、3/19(月)

・教育実習支援会議	5回	6/21(水)、7/19(水)、11/1(水)、12/7(木)、1/24(水)
・学校インターシップ推進会議	9回	6/21(水)、7/12(水)、8/2(水)、9/6(水)、11/8(水)、 11/29(水)、1/9(火)、1/25(木)、2/8(木)
・教育相談・共同研究推進会議	1回	6/28(水)
・教員採用試験対策支援会議	1回	4/7(金)
・社会進出支援推進会議	4回	5/10(水)、7/5(水)、10/5(木)、2/15(木)
・教育学部教育実習支援会議	5回	6/21(水)、7/19(水)、11/1(水)、12/7(木)、1/24(水)

(c) 出版

『松本大学教職センター 授業実践報告シリーズ14』の発行 2019.3.31

(d) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会等主催の諸活動への参加

- 平成29年 5月14日 定期総会報告・合同研究大会・全国私立大学教職課程研究連絡協議会
於 早稲田大学早稲田キャンパス 10号館109教室 川島一夫教授 出席
- 平成29年5月20日、21日 第37回全国私立大学教職課程協会研究大会
於 玉川大学 羽田行男教授、武者一弘教授、澤柿教淳准教授、秋田真准教授、和田順一准教授、
佐藤茂太郎専任講師、上條直哉主任、田嶋哲也主任 出席
- 平成29年11月25日 2017年度研究交流集会
於 四国学院大学 羽田行男教授 出席
- 平成29年7月16日 2017年度関私教協 第1回研究懇話会
於 北里大学薬学部コンベンションホール 武者一弘教授 出席
- 平成29年9月7日 日本養護教諭養成大学協議会
於 きゅりあん 中島節子専任講師、田嶋哲也主任 出席
- 平成29年9月9日 第1回関私教協北部地域連絡協議会
於 埼玉会館 田嶋哲也主任 出席
- 平成29年12月17日 2017年度関私教協 第2回研究懇話会
於 法政大学小金井キャンパス梶野町校舎 守一雄教授 出席
- 平成30年2月17日 第2回関私教協北部地域連絡協議会
於 埼玉会館 武者一弘教授 出席

(e) 教員免許状更新講習**【必修領域】**

7月29日(土) 「教育の最新事情」(講師：川島一夫、今泉博)

8月8日(火) 「教育の最新事情」(講師：守一雄、武者一弘)

【選択必修領域】

7月30日(日) 「道德教育」(講師：征矢野達彦)

7月30日(日) 「保護者対応のあり方と学校における危機管理について」(講師：小松茂美)

7月30日(日) 「教育の情報化 はじめの一步」(講師：室谷心)

7月30日(日) 「学級経営や授業展開に役立つ教育相談の基礎」(講師：岸田幸弘)

7月30日(日) 「外国語科における連携とその指導」(講師：和田順一)

8月9日(水) 「道德教育」(講師：征矢野達彦)

8月9日(水) 「保護者対応のあり方と学校における危機管理について」(講師：小松茂美)

8月9日(水) 「教育の情報化 はじめの一步」(講師：室谷心)

8月9日(水) 「学級経営や授業展開に役立つ教育相談の基礎」(講師：岸田幸弘)

8月9日(水) 「地域とともにある学校 ―教育政策と学校づくりの視点から『小さな学校』を考える―」(講師：武者一弘)

【選択領域講習】

- 6月3日(土) 「カウンセリングと心理療法の基本と実際」(講師:中山文子)
- 6月10日(土) 「消費者保護の法律問題」(講師:増尾均)
- 6月17日(土) 「ミクロの世界をのぞくー細胞を見る(正常の細胞から癌細胞まで)」
(講師:江原孝史)
- 6月18日(日) 「体質に関わる遺伝子型解析実験」
(講師:山田一哉、高木勝広、浅野公介、塚田晃子)
- 7月1日(土) 「美味しさの調理学」(講師:石原三妃)
- 7月2日(日) 「投影法を活かした児童理解」(講師:羽田行男)
- 7月23日(日) 「子どもがゲーム理解をするボールゲームの授業をつくる」(講師:濱田敦志)
- 8月5日(土) 「発達上の課題を有する非行少年の理解と支援」(講師:内藤千尋)
- 8月10日(木) 「主体的な学びを育む小学校社会科授業づくり」(講師:秋田真)
- 8月26日(土) 「子どもの問題解決が実質化する45分間の授業構成について」
(講師:澤柿教淳)
- 8月27日(日) 「食生活に関する調査の方法と活用」(講師:廣田直子)
- 9月2日(土) 「小学校教員実力養成講座(算数科指導と学級経営)」
(講師:増田吉史、佐藤茂太郎)
- 9月3日(日) 「結婚と結婚式、その変遷と現状」(講師:小澤岳志)
- 9月16日(土) 「仕事の効率化につながるExcelプログラム入門」(講師:浜崎央)
- 9月30日(土) 「こどものこころとからだの健康」(講師:矢崎久、中島節子)
- 10月21日(土) 「中学校用のオーラルスキルを中心にアプローチする英語学習」ー理論と実践例
(講師:ミゲル・ミション)
- 10月22日(日) 「子どもの食物アレルギーー基礎から応用まで(学童～思春期編)」
(講師:沖嶋直子)
- 11月3日(金) 「子どもの食物アレルギーー基礎から応用まで(園児編)」(講師:沖嶋直子)
- 11月18日(土) 「地域資源の魅力と活かしかた」(講師:山根宏文)
- 11月26日(日) 「論理的文章の読み方・書き方」(講師:國府田祐子)

(f) 教職専門職への就職実績

総合経営学部	1名
人間健康学部	14名
教育系大学院進学	2名

(g) 平成29年度 教職センター活動日誌(抜粋)

- 4月3日～ 平成29年度教育実習開始
- 4月10日～ 教職課程履修者の成績不振者との面談
- 4月10日～ 教員免許状更新講習 受付開始
- 4月14日 3年生対象「教職課程カリキュラムガイダンス」・「教育実習ガイダンス」
- 4月14日 4年生対象「教職課程カリキュラムガイダンス」・「教育実習ガイダンス」
- 4月15日 2年生対象「教職課程カリキュラムガイダンス」
- 4月20日 教育実習直前ガイダンス+梓友会説明
- 4月21日 教員免許状更新講習教員説明会開催
- 4月24日 長野県教育委員会 高校教育課との教員採用試験に関する情報交換
- 5月13日 第1回 梓友会開催 於:ホテルモントーニュ松本
- 5月13日 教員採用試験模試 実施
- 6月7日 「地域社会と大学教育」教育学部において教職課程の説明

- 6月29日 教員採用試験 集団面接練習
 6月29日・7月6日 「地域社会と大学教育」総合経営学部において教職課程の説明
 6月26日・7月3日 「地域社会と大学教育」人間健康学部において教職課程の説明
 6月28日 愛知東邦大学からの視察・情報交換
 6月29日 教員採用試験 面接対策
 7月8日・9日 長野県教員採用選考第1次選考
 7月10日～21日 平成29年度 教職課程履修受付
 7月13日～ 特別支援学校における介護等体験開始
 7月15日 京都地区教員免許事務勉強会参加（田嶋）
 8月10日 教員採用試験対策面接講座を開催
 8月28日 文部科学省による再課程認定申請の説明会
 9月12日・17日 教員採用二次試験に向けた面接・模擬授業・論文対策
 9月23日 地域科学研究会 研修会（参加：國府田、田嶋）
 8月28日 再課程認定説明会
 9月25日 他学部での授業履修説明会 免許取得希望調査
 9月29日 1年生対象の教職履修ガイダンス（総経、人間）
 9月29日 ボランティア系科目のガイダンス
 10月2日 社会福祉施設における介護等体験開始
 10月2日 上越教育大学大学院説明会
 10月4日 教育学部「学校ボランティア活動」開始
 10月7日 京都地区教員免許事務勉強会参加（田嶋）
 10月12日 「教育実践特講」のオリエンテーション
 10月18日 長野県教育委員会による教員免許状年度末一括申請事務説明会
 10月19日 在学生向け教員採用試験に関する対策講座（時事通信出版局）
 11月6日 長野県教育委員会による教員免許状更新講習に関する関係者打合せ会
 11月20日 他学科免許履修支援プログラム説明会
 11月9日 教員免許状年度末一括申請 事務手続き説明会
 12月5日 再課程認定申請における文部科学省との事前相談
 12月14日 教職課程履修2年生ガイダンス 1回目
 12月15日 教職課程履修2年生ガイダンス 2回目
 12月15日 他学科免許履修プログラム選考会議
 12月21日 教育学部「学校インターンシップ」自己開拓生への説明会①
 1月31日 教育学部「学校インターンシップ」自己開拓生への説明会②
 1月27日 教員採用試験模擬試験実施
 1月27日 第2回 梓友会の開催 於：松本大学構内
 2月1日 教育実習連絡会議（メール審議）
 2月2日 「教育実践特講」の集中講義 1日目
 2月3日 「教育実践特講」の集中講義 2日目
 2月8日 共栄大学からの視察・情報交換
 3月9日 平成30年度教育実習履修許可者掲示

平成30年度 教員採用試験結果

■現役生

14S009	今井 南貴	長野県小・中・特別支援学校	養護教諭	二次合格
14S044	杉山 恭香	新潟県小学校		二次合格
14S086	宮嶋 真悠	長野県小・中・特別支援学校	養護教諭	二次合格

14S022 金山 紗也 エクセラン高等学校 養護教諭 採用
 14T007 新井 諒 飯田女子高等学校 情報教諭 採用

以上5名合格

■卒業生

H24年度卒業生 09S025 北 早織 山梨県養護教諭 二次合格
 H24年度卒業生 09S040 櫻木 将之 横浜市中学校 二次合格
 H24年度卒業生 09S067 中村 博之 長野県高校（保健体育） 二次合格
 H25年度卒業生 10S053 高梨 泰弘 静岡県小学校 補欠合格
 H27年度卒業生 12T083 宮田 翔大 長野県中学校（社会） 補欠合格
 H27年度卒業生 12S061 檀原 美咲 長野県小学校 二次合格
 H27年度卒業生 12S078 降旗 未来 長野県養護教諭 二次合格
 H28年度卒業生 13S041 神戸 めぐみ 長野県高校（保健体育） 二次合格
 H28年度卒業生 13S085 宮寄 さや香 長野県小学校 二次合格

以上9名合格(内補欠合格2名)

(4) 図書館運営委員会

a) 組織

総合経営学部教員2名、人間健康学部教員2名（内1名健康科学研究科兼務）、教育学部教員1名、短期大学部教員2名（内1名館長兼務）、事務局1名、業務委託7名

b) 委員会開催

平成29年4月25日（火）16:50～18:00

- (1) 短期日本語プログラム留学生の図書館サービスの利用範囲について審議され、館内閲覧、複写、レファレンス、検索、備え付け設備の利用が承認された。
- (2) 図書館利用講習会申込書の様式について審議され、利用開始を6月1日とすることで承認された。
- (3) レポート・論文の書き方講座の実施方法について提案があり、審議の結果承認された。
- (4) 2016年度活動報告、利用統計について報告された。
- (5) 図書館主催公開講座開催について報告された。
- (6) 卒業論文の保管方法について、図書館にて保管する必要性について意見交換された。各学部の教授会に報告事項として提示し、意見があれば今後の課題として取り上げることとした。

平成29年6月22日（木）13:30～14:30

- (1) 学科別学生用図書を選定について審議、承認された。金額の上限はあくまで目安とし、上限を超えた場合でも柔軟に対応する旨確認された。
- (2) 学校教育学科資料選定について、総務課学部設置担当者と十分に調整を行い、学部設置に係る選定を優先して進めることが確認された。
- (3) 管理栄養士関連テキストの購入について、健康栄養学科内にて蔵書シリーズの絞込みおよび新規追加シリーズの推薦を行っていただきたい旨が依頼され、審議の結果承認された。
- (4) 図書のカビ除去費用について、除去費用を補正予算にて執行したい旨提案があり、審議の結果承認された。
- (5) 4月～5月の活動および利用統計が報告された。
- (6) レポート・論文の書き方講座の実施報告がされた。

平成29年10月31日（火）8:30～9:20

- (1) 延滞者督促のルールについて審議された。
- (2) 後期学科別学生用図書を選定について、各学科で購入できる残額を示し、購入する図書選定について学科で検討していただくこととした。
- (3) 2018年度和雑誌およびデータベース等の継続と新規購入について、各学科に呼びかけ購入の可否

について検討を依頼した。

- (4) 2018年度外国雑誌・電子ジャーナル等の継続と新規購入について審議の結果購入を認められた。
- (5) 6月～9月の活動および利用統計が報告された。
- (6) 9月4日～7日にかけて1階電動書架の洋書カビ除去および書籍の洗浄（一部除籍）の実施が報告された。建物の構造上、今後も発生する可能性があるため、その場合は関係部署と相談して対処したい旨報告した。
- (7) 視聴覚コーナー設備の入替えを実施したと報告された。残りについては来年度実施予定。
- (8) 11月読書月間の企画イベントについて報告された。
- (9) 11月に学校教育学科1年生を対象にレポート論文の書き方講座を実施することが報告された。また、図書館で実施する本講座について、学生に紹介してほしいと依頼がされた。
- (10) 他学の研究紀要の閲覧について委員から確認があり、他学から送られた研究紀要は図書館で開架され、OPACで検索できると回答した。

平成30年2月1日（木）8:45～9:25

- (1) 2018年度和雑誌およびデータベースの継続と新規購入について、審議の結果承認された。
- (2) JDreamⅢ料金体系の見直しについて審議され、承認された。
- (3) 10月～12月の活動および利用統計が報告された。
- (4) 年4回実施する延滞者の督促について報告がされ、7月および1月の早い時期に行うべきとの意見がなされた。

c) 事業・活動内容

- (1) 図書館運営・サービスの方針および計画の審議
- (2) 図書館利用の促進
- (3) 学科別図書の選定および取りまとめ
- (4) 雑誌・データベースの講読・契約に関する審議

d) 図書館サービス・図書館利用促進業務

(i) 平成29年度利用実績

4月1日（土）～：図書館開館

開館日数	延べ利用者数	貸出者数	貸出冊数	視聴覚資料閲覧
265日	77,502人	4,198人	7,907冊	1,789人

(ii) 図書館オリエンテーション・ガイダンス

- 4月3日（月）：総合経営学部・人間健康学部・教育学部新生図書館
オリエンテーション（20分）
- 4月4日（火）：松商短期大学部新生図書館オリエンテーション（20分）
- 8月9日（水）・10日（木）：松商短期大学部後期図書館オリエンテーション（10分）
- 3月26日（月）：総合経営学部在学生進級図書館オリエンテーション（10分）
- 3月27日（火）：人間健康学部在学生進級図書館オリエンテーション（10分）
- 3月28日（水）：教育学部・松商短期大学部在学生進級図書館オリエンテーション（10分）
- 〈ゼミナール別図書館ガイダンス〉
- 4/11観光1年（白戸・大石・尻無浜・益山・今村・八木・中澤・向井）、4/18総経1年（室谷・矢崎・兼村・成）、6/21短大1年（金子）、6/28短大1年（伊東・中村・川島）、7/5短大1年（伊東）、7/12短大1年（矢野口・松原）、11/16留学生対象（中村）

(iii) 通常開館

開館9:00 閉館20:30（土曜日17:00）

長期休業中の閉館は19:00(土曜日17:00)

(iv) データベース利用

平成29年度利用の有料データベースおよびEジャーナル

- ①国立情報学研究所データベース、②JDreamⅢ、③医中誌web、④信濃毎日新聞記事検索、⑤第一法規法情報、⑥ジャパンナレッジLib、⑦日経テレコン、⑧日経NEEDS・FinancialQUEST、⑨メディカルオンライン、⑩Eジャーナル(8タイトル、1パッケージ)

(v) 学外者利用サービス提供

図書館開館中は、学外者にも図書館サービス(貸出ほか一部サービスを除く)を行っている。平成29年度利用者は延べ892人であった。平成28年度から運用を開始した松本大学図書館ゲストカードの登録者は新規3名であった。

(vi) 図書の充実・整理

平成29年度受入図書数

図 書		ビデオ	CD	DVD	デジタル資料
和: 4,391	洋: 138	0	0	113	1
全: 4,529					
和雑誌	洋雑誌				
560	32				

(vii) 蔵書点検

今年度は実施せず。

(viii) 学生利用促進企画

- ①短期大学部入学者全員に読書スタンプラリー用の1押印済みのポイントカードを配布。2016年度までは短期大学部教務委員会が行っている、短期大学部入学予定者を対象とした「4月までの準備学習のススメ」の課題提出者に配布していたが、2017年度より全入学者に変更。
- ②謎解きゲーム: 4月10日(月)~28日(金) 参加者41名、クリア者10名
図書館の利用促進および図書館知識を深めてもらう目的で開催
- ③授業サポート
- ・教育学部1年生全員: 4月19日(水)・26日(水) 2限「図書館講習」
教室でOPACの使い方と電子情報検索の案内、館内ツアー実施。
 - ・山田先生: 10月2日(月)「バイオメディカル文献探索法」受講生8名
山田先生より依頼があり、データベース講習会を実施。レポート・論文の書き方とデータベースを使用した文献検索方法(Pub Med、医中誌web、Science Direct)。
 - ・教育学部1年生全員: 11月22日(水)・29日(水) 1限「レポート論文の書き方講座」
レポートの書き方+資料検索方法の説明。資料検索方法では実際にOPAC検索を行い、OPACの見方、本の探し方を説明。
 - ・室谷先生: 12月1日(金) 4限「レポート論文の書き方講座」受講生15名
室谷先生より依頼があり、教育指導入門の時間に実施。レポート・論文の書き方と資料検索方法の説明、図書館で実際に資料を探し当てる。
- ④県内7短大連携企画、おすすめ本の紹介「隣は何を読む人ぞう」第27号~30号発行(年4回)
県内7短大の学生・教職員・司書が毎号テーマに沿ったおすすめ本を紹介する。秋には第5回ヨムゾー大賞を行った。

- ⑤グループ学習室利用：74日
- ⑥読書スタンプラリー実施（参加人数15名、レポート数84枚）
- ⑦前期レポート論文の書き方講座：5月29日（月）～6月2日（金）30分程度
図書館グループ学習室にて各回定員10名で募集、計26名の学生が参加
館内で関連資料の展示、講座終了後1階にコーナー常設。後期は読書月間の企画として実施。
- ⑧リサイクル図書市（2回）：前期6月26日（月）～7月7日（金）、後期12月11日（月）～26日（火）実施。除籍した資料を学生、教職員に無料で譲渡。
- ⑨読書月間：11月1日（水）～11月30日（木）『ときめく本に、会いましょう』
 - ・学生・教職員による本の紹介「おすすめの1冊」
 - ・企画展示：大学生の日常術、ファンタジーと〇〇の謎、超有名作品を読み直す
 - ・企画：（ア）レポート論文の書き方講座／11月6日（月）～10日（金）45分程度
図書館グループ学習室にて各回定員10名で募集、計12名の学生が参加
（イ）謎解きゲーム／参加者17名、クリア者2名（12月20日（水）まで延長）
（ウ）クイズ君の名は？／問題数90問、回答（参加）数44問、最大で17名参加と推測
（OPAC検索ができ、実際に本を探せるようになるのが狙い）
（エ）iPadを使った電子書籍の紹介、体験コーナー
- ⑩卒論貸出
 - ・卒業論文用図書貸出のお知らせを掲示、ホームページ案内、卒業研究担当教員にメール配信
 - ・図書の貸出期間を1ヶ月とし、1回貸出延長可。雑誌の貸出期間は2週間
 - ・貸出冊数は通常の貸出冊数とは別に5冊まで、利用申請は随時受付
申請者29名（学部：田邊ゼミ5名、清水ゼミ3名、葛西ゼミ・尻無浜ゼミ・沖嶋ゼミ・福島ゼミ・根本ゼミ・岩間ゼミ・河本ゼミ各1名／短大：香取ゼミ・中山ゼミ5名、伊東ゼミ2名、松原ゼミ1名／科目等履修生1名）図書82冊・雑誌6冊貸出
- ⑪11月より延滞者督促メール配信、督促状配布開始
1ヶ月超過の学生にメール配信（毎月）、2ヶ月以上超過の学生に督促状を配布した（年4回）。
- ⑫本の展示
新入生向け展示、就活生応援フェア、TOEIC対策、レポート・論文の書き方関連本、地方から元気発信、地球の食卓、赤い本だけ集めました、松大生のための読書案内、月刊回教圏、本のクリスマスツリー、SNSを賢く使おう、福を呼ぶ本診断、紅白本、映画・ドラマの原作用、直木賞・芥川賞受賞作、本屋大賞、学内講演会関連本 等
- ⑬ブックログに本の紹介文アップ（読書月間時の本の紹介、司書科目受講生の紹介する本）

(ix) 図書館広報関係発行物

- 「図書館利用案内2018」
- 「図書館だより」No.47～50（学生向け）
- 「図書館要覧2017年度版」

(x) 巡回図書受け入れ

6月1日（木）：笠原書店・河出書房新社

(xi) 信州共同リポジトリ

松本大学研究紀要第15号、地域総合研究第17号、第18号、教育総合研究創刊号アップ
平成29年度の閲覧回数：15,885回、論文等のダウンロード数118,079回
3月26日（月）：平成29年度信州共同リポジトリ年度報告会出席（信州大学中央図書館）

(xii) 図書館公開講座

- 6月10日(土):「地域にある生活に身近な図書館ができること」
 講師:舟田彰氏(川崎市立図書館) 61名参加(学生45名、一般16名)
- 12月2日(土):「学校図書館が学校教育の中の図書館であるために」
 講師:中山美由紀先生(埼玉大学・立教大学等非常勤講師)
 68名参加(学生50名、一般18名)

e) 資料・設備等の整備・管理業務

(i) 資料の整備

- ①進路に関するコーナー
 例年通り、キャリアセンターと同じ資料を購入。2016年度末から2017年度始めに登録、排架。
- ②レポート課題調査
 前期と後期に教員と非常勤講師に調査を依頼。返信のあった教員に対し、図書購入や関係図書を集めてコーナーを設置。貸出期間、貸出冊数を制限し対応。
- ③絵本のラベル修正
 各分類番号から「E」、著者記号カタカナ1字採りに変更。
- ④洋書カビ除去作業
 9月4日(月)～7日(木)にかけて1階電動書架の洋書カビ除去および書籍の洗浄(一部除籍)を実施。
- ⑤OPAC詳細画面に電子書籍のリンクを張り、OPACから直にアクセスできるように設定した。
- ⑥郷土資料のラベル修正
 分類番号の前に「N」をつけ、著者記号2字採りに変更。2類まで終了、3類以降は順次データ修正→ラベル貼り替え作業を行う。
- ⑦教育学部1年次資料受入
 12月26日(火)、1月31日(水)、2月22日(木)納品、受入登録
- ⑧棚担当を決め資料の見直しを進める。

(ii) 設備の新設・更新

- ①蔵書検索システムのバージョンアップ、Web上で利用者自身による文献依頼が可能になった
- ②カウンター内パソコンが4台から5台へ増加、すべて図書館システム「情報館」搭載
- ③視聴覚コーナーのモニタ、デッキ(DVD・Blu-ray対応)を10台分入替
- ④1階北側非常口の鍵交換
- ⑤カウンター内プリンタ1台入替
- ⑥入退館ゲート定期点検(年2回):9月5日(火)・3月23日(金)

f) 教職員サポート業務

(i) 図書購入・図書費の管理

平成29年度研究図書費実績

(単位:円)

	学科	図書費	新聞雑誌費
大学院	研究科	283,890	465,742
総合経営	総経	287,414	959,957
	観光	261,762	598,034
人間健康	栄養	145,855	237,163
	スポーツ	257,041	502,583
教育	教育	170,342	992,216
短大	商学	44,423	402,179
	経情	114,032	420,723
合計			6,143,356

職員図書費	103,117
-------	---------

(ii) 図書・研究資料検索等

他機関からの資料取り寄せほか実績

文献依頼	相互貸借	紹介状発行	国立国会図書館 デジタル化送信サービス
164	22	0	4

(iii) 司書科目授業協力

①2月5日(月)～3月1日(木) 司書科目「図書館基礎特論」の授業で図書館実習への協力。

実習開始前の1月23日(火)に座学1コマ担当。実習は、実習生13人が1人10コマ。1コマ当たり1～5人を受入。内容は装備、発注、検収、受入、紀要登録、新聞整理、排架、展示コーナー作成等。

g) 総務的業務・他機関との連携

(i) 調査等への回答

5月18日(木)：日本図書館協会・図書館調査票提出

11月9日(木)：平成27年度学術情報基盤実態調査—大学図書館編—回答

10月23日(月)：朝日新聞出版社「大学ランキング」調査回答(Web)

(ii) その他

6月20日(火)：平成29年度長野県図書館協会定期総会 館長

10月20日(金)：平成29年度長野県図書館協会第2回常務理事会 館長

2月13日(火)：平成29年度長野県図書館協会第3回常務理事会 館長

h) 職員研修

(i) 学外研修

6月～12月：私立大学図書館協会東地区部会 2017研修分科会(全6回)

6月9日(金)：2017年度私立大学図書館協会東地区部会総会・館長会
館長出席 東京(立正大学 品川キャンパス)

8月31日(木)・9月1日(金)：

第78回私立大学図書館協会総会・研究大会

館長出席 大阪(大阪工業大学 梅田キャンパス)

8月22日(火)：長野県図書館協会大学専門図書館部会夏期研修会 塩尻市(えんぱーく)

9月9日(土)：長野県図書館協会専門研修No.8 塩尻市(えんぱーく)

10月19日(木)・20日(金)：

平成29年度レファレンス・サービス研修 京都(国立国会図書館関西館)

11月7日(火)：第19回図書館総合展 館長・課長参加 神奈川(パシフィコ横浜)

11月11日(土)：第67回長野県図書館大会 長野市(信州大学工学部 他)

12月7日(木)・8日(金)：

2017年度機関リポジトリ新任担当者研修 東京(国立情報学研究所)

3月5日(月)：長野県図書館協会大学専門図書館部会研究会 松本大学図書館

i) その他

「松本大学古本募金」プロジェクトへの協力

中学校職場体験学習：7月20日(木)～21日(金) 梓川中学校2年生2名

11月16日(木)～17日(金) 筑摩野中学校2年生2名

(5) 情報センター運営委員会

情報センターでは、通常業務として

- ①研究・教育の支援
パソコン教室整備、コンピュータ関連科目整備、オリエンテーション実施、学生アシスタント手配等
- ②情報機器の維持・管理
ネットワーク、サーバー類の維持管理、教職員パソコンの管理、貸出ノートパソコンの管理
- ③その他
資格取得支援管理、外部講習会の実施等
を行っている。

(a) 委員会開催

平成29年度は4回(5月・8月・10月・12月)の委員会を開催し、学部・学科による様々な事情や教育方針の違いなどを考慮に入れて議論しながら、業務を遂行してきた。とくに、IOゲート(ネットワークプリンター)の利用方法や、無線LAN接続機器の増加に伴うファイアウォールの入れ替え、SPSSの購入、さらにPC教室でのOS(Windows10への変更)やOfficeおよびソフトウェアについては、様々な方針や考え方の違いなどから議論を重ね、大学全体のことを配慮して決定・実施をした。

(b) 長野県が主催するシニア大学への協力

平成29年9月4日・9月5日

松本大学にてシニア大学の講義・演習を実施した。最近のIT事情についての講演に引き続き、パソコンの使い方、エクセルの使い方、ワードの使い方、写真の加工など、習熟度に応じたパソコン実習を実施した。

(c) 委員会事業・活動

- ①各種サーバー類の管理運用業務
- ②コンピュータ教室のソフトウェアの管理・更新
- ③学内のコンピュータや通信機器のメンテナンス業務
- ④学内におけるネットワークやコンピュータに関するトラブルなどに関する相談と対応
- ⑤各種検定試験の申し込み受付業務
- ⑥学内で実施する検定試験の試験監督業務

(6) 国際交流センター運営委員会

(a) 業務内容

今年度の国際交流センター運営委員会の業務の中心は、学内のグローバル化の推進と、海外留学生並びに交換留学生の支援である。

まず、今年度の「短期日本語プログラム」での受け入れは、参加希望者がいなかったため夏のプログラムは実施されなかったが、5月に台湾の義守大学と協定を締結したこともあり2月の冬のプログラムには41名の学生が参加した。出身は、台湾の義守大学から21名、中国の嶺南師範学院から17名、米国のニューヨーク市立大学ラガーディア校から1名、マレーシアから1名、韓国の済州大学から招待学生1名であった。

また、交換留学生の受け入れは、中国の嶺南師範学院から5名、韓国の東新大学から3名を受け入れた。

他方、科目「海外研修」での短期留学での派遣は、湘北短期大学と共催で実施されるオーストラリアのニューカッスル大学短期プログラムに11名(内短大生3名)、米国のノートルダム大学短期プログラムに3名(短大部)、韓国の東新大学2名、台湾の義守大学5名(短大部)、英国のリージェンツ大学2名の計23名であった。また、2名が韓国の東新大学での半年間の留学を体験した。

これらの派遣・受け入れ業務に加えて、今年度は、危機管理マニュアルの規程の再確認、大学としての国際化に対する「将来ビジョン」の再確認と数値目標の決定を行うとともに、「中期計画」や「将来計画」においても国際化の推進を盛り込んだ。また、松商短期大学部では、4学期制の1・2学期を活用して海外

に留学できるプログラムを作成し、このプログラムに授業料相当額の経済的支援をすることにした。加えて、教育学部の開学に伴い、教育学部としての海外研修プログラムの作成も開始された。

教員交流についても、本学の「海外事情Ⅰ」では協定校である韓国東新大学の柳在淵先生と中国中山大学の李國寧先生、「海外研修Ⅱ」では嶺南師範学院の程麗華先生と台湾義守大学の花城可裕先生が来学し、授業を行った。また、松商短期大学部では、嶺南師範学院との覚書に基づき、短大部の教員が嶺南師範学院で集中講義を行ったほか、嶺南師範学院と同様の教員交流に関する覚書の締結を目指して台湾義守大学との協議を開始した。

(b)活動報告

2017年度 国際交流関係事業

- 4月3日 交換留学生オリエンテーション、市役所・郵便局手続き（関澤・續）
- 4月6日 留学生・交換留学生顔あわせ会
- 4月14日 台北駐日本代表処教育組長 林世英組長来訪（糸井センター長・関澤）
- 4月14日 私費留学生授業料減免面接 4名（糸井センター長、大石委員）
- 4月19日 第1回国際交流センター運営委員会
- 4月21日 松本市留学生応援ファミリーの会歓迎会 11名（ふくふくらいず 関澤）
- 4月24日 波田国際寮 Wi-Fi設置工事、ダイニングテーブル、イス搬入
- 4月28日 韓国 東新大学創立30周年記念式典（糸井センター長出席）
- 5月8日 人間健康学部 国際交流センター事業紹介（関澤）
- 5月10日 留学生在留更新申請（東京入国管理局長野出張所 関澤）
- 5月11日～15日 台湾・義守大学訪問、交流に関する協定を締結
- 5月11日 総合経営学部 国際交流センター事業紹介（續）
- 5月12日 総合経営学部 国際交流センター事業紹介（續、関澤）
- 5月17日 第2回国際交流センター運営委員会
- 5月20日 ロータリークラブ総会 中国語通訳協力（ブライトガーデン 交換留学生 コウハイキさん、ヒョウカゴウ君）
- 5月26日 国際交流センター・国際交流クラブ合同歓迎会 38名（波田寮）
- 5月28日 野麦峠まつり（交換留学生 中国女子学生4名参加）
- 6月28日 第3回国際交流センター運営委員会
- 7月5日 教育学部 国際交流センター事業紹介（續）
- 7月15日 松本市平和スピーチコンテスト
中国嶺南師範学院交換留学生3名（ジョ・レイシさん、テイ・ギョクテイさん、ヒョウ・カゴウさん）入選参加
1位 ジョ・レイシさん、2位 テイ・ギョクテイさん
- 7月16日 塩尻市立図書館交流事業 交換留学生7名参加
- 7月28日 第4回国際交流センター運営委員会
- 8月5日 松本ぼんぼん 留学生1名（チン ミンミン君）、交換留学生7名 計8名参加
- 8月26日・28日 松本市事業 ロシア・松本青年交流プログラム 計4名参加
- 9月1日～16日 義守大学サマー・プログラム参加（短大部5名）
- 9月7日・8日 グローバルキャンプ2017（信州大学農学部 野辺山ステーション）5名参加
- 9月23日 松本市ノーマイカーデー事業協力（松本駅～松本城 外国語案内）
交換留学生3名、学生2名 計5名参加
- 9月27日 学研災保険、留学生対象賠償保険、留学生住宅保険説明会（オリンピック記念青少年センター 續出席）
- 10月18日 第5回国際交流センター運営委員会
- 10月23日 台湾義守大学短期プログラム参加者報告会（住吉学長、村瀬常務理事、糸井センター長、

- 参加学生5名)
- 10月23日 住吉学長と交換留学生の意見交換会
 - 11月9日 義守大学 林麗娟副学長、応用日本語学科 李恩愛副教授来訪
 - 11月17日 松本東ロータリークラブスピーチコンテスト
交換留学生 コウ・カイイさん 1位
台湾 小港病院関係者15名 本学来訪
 - 11月29日 第6回国際交流センター運営委員会
 - 12月3日・4日 フィールドトリップ(高山、白川郷、金沢)
交換留学生8名、留学生2名 計10名参加
 - 12月5日 パルドゥビツェ大学来訪(経営学部長、副学部長2名)
 - 12月16日 アジア賞授賞式 コウ・カイイさん 1位
 - 12月21日 交換留学生帰国オリエンテーション
 - 1月17日 第7回国際交流センター運営委員会
 - 1月21日～24日 東新大学訪問(住吉学長、関澤係長)
 - 1月25日 交換留学生 住吉学長への帰国あいさつ
 - 1月26日 留学生担当者会議(文部科学省)
 - 1月28日～2月10日 ウィンタープログラム 41名参加
 - 3月6日 同窓会・村瀬組海外研修支援金贈呈式
 - 3月7日 第8回国際交流センター運営委員会

(7) 地域健康支援ステーション運営委員会

本ステーションは、文部科学省平成21年度大学教育推進GP事業の採択を受け、本学人間健康学部健康栄養学科内に設置され、平成22年4月から管理栄養士を専任スタッフとして配置し、メニュー開発や栄養指導など本格的に活動を開始した。GP事業終了後には、スポーツ健康学科含め人間健康学部全体の教育や地域貢献との関わりを保ちながら独自の活動を推進してきた。平成25年度には同省COC事業の採択を受け、健康運動指導士を専任スタッフとして配置し、地域からの要望に応じ、運動指導や体力測定などにも活動の幅を広げている。活動に参加する学生においては、地域における実践指導の体験等を通して栄養や運動に関する専門的な学習を深める場となっており、学生の育成と地域貢献を理念とした健康づくりのため、栄養と運動の両面からさまざまな活動を行っている。

(a) 組織と会議

- ①組織：運営委員長1名(健康科学研究科教授) 委員4名(スポーツ健康学科長、総合経営学科、観光ホスピタリティ学科、学校教育学科) 事務局5名
- ②運営委員会：1回 5月15日

(b) 管理栄養士による実践的活動

地域などからの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(管理栄養士)が実施した活動

- ①4月4・6・7・8日 「ハイリスク学生個別栄養指導」
(依頼元：松本大学健康安全センター、対象者17名、指導教員：廣田直子)
- ②6月28日 「高齢期の食生活の話と調理実習」講師
(依頼元：真々部公民館、対象者14名、指導教員：廣田直子)
- ③7月27日、9月4日 「林業作業士初任者研修」講師
(依頼元：(財)長野県林業労働財団、対象者44名、指導教員：廣田直子、参加学生2名)
- ④10月22日 イスラエルシニア世代との交流事業「講話と調理実習」講師
(依頼元：シルバークフェ、対象者47名、指導教員：廣田直子)
- ⑤12月3日 食育イベントにおける体験ブース設営

- (依頼元:長野県諏訪保健福祉事務所、対象者70名、指導教員:廣田直子、参加学生2名)
 ⑥12月20日 自立訓練事業所における調理実習の講師
 (依頼元:医療法人芳州会自立訓練事業所あかしや、対象者16名、指導教員:廣田直子)

(c)健康運動指導士による実践的活動

地域からの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(健康運動指導士)が実施した活動

(i)運動実践指導

- ①4月11日、5月9日、6月13日、7月11日、8月8日、9月12日、10月10日、11月7日、12月12日、1月9日、2月6日、3月6日
 「介護予防運動教室」の講師
 (依頼元:塩尻市社会福祉協議会本山分会、全12回、対象者延べ140名、指導教員:根本賢一、参加学生延べ4名)
- ②4月18・25日、5月9・16・23・30日、6月13・20・27日、7月4・11・18・25日、8月1・22・29日、9月5・12日、10月3・17・24・31日、11月21・28日、12月5・12・19日、1月9・16・23・30日、2月6・13・27日、3月6・13日
 健康教室「のびのび健康時間」の講師
 (依頼元:塩尻市吉田公民館、全38回、対象者延べ1,522名、指導教員:根本賢一、参加学生延べ6名)
- ③4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、8月17日、9月21日、10月19日、11月16日、12月21日、1月18日、2月15日、3月15日
 「介護予防運動教室」の講師
 (依頼元:塩尻市社会福祉協議会床尾分会、全12回、対象者延べ85名、指導教員:根本賢一)
- ④4月21日、5月28日 「認知症予防と運動」「速歩教室」の講師
 (依頼元:塩尻市峰原地区、対象者延べ32名、指導教員:根本賢一、参加学生1名)
- ⑤4月26日、5月10・24日、6月14・28日、7月12・26日、8月23日、9月13・27日、10月11・25日、11月15・29日、12月13日、1月17・31日、2月14日、3月14日
 「介護予防講座『転ばぬジェントルマンとレディーの会』」の講師
 (依頼元:朝日村社会福祉協議会、全19回、対象者延べ285名、指導教員:根本賢一、参加学生2名)
- ⑥5月11日、6月15日、7月13日、8月17日、9月14日、10月12日、11月16日、12月14日、2月15日、3月15日
 ふれあいセンター洗馬「いきいき講座」の講師
 (依頼元:塩尻市社会福祉協議会、全10回、対象者延べ119名、指導教員:根本賢一、参加学生4名)
- ⑦5月13・20日 「速歩教室」の講師
 (依頼元:宮田村公民館、対象者延べ50名、指導教員:根本賢一、参加学生1名)
- ⑧6月23日 「介護予防講座」の講師
 (依頼元:ふれあいセンターすがのの郷、対象者30名、指導教員:中島節子)
- ⑨6月29日、7月8日 「介護予防講座」の講師
 (依頼元:塩尻市広丘ヘルスアップ委員会、対象者延べ39名、指導教員:根本賢一)
- ⑩7月1日 「介護予防講座」の講師
 (依頼元:塩尻市社会福祉協議会奈良井分会、対象者80名、指導教員:根本賢一、参加学生3名)
- ⑪7月12日 「食生活改善推進員研修会」の講師
 (依頼元:長野県松本保健福祉事務所、対象者41名、指導教員:中島節子)
- ⑫8月21日、11月13日、2月5日 「横出ヶ崎地区健康運動講座」の講師
 (依頼元:朝日村、全3回、対象者延べ13名、指導教員:根本賢一)
- ⑬9月11日、12月11日、3月5日 「旭ヶ丘地区サロン健康運動講座」の講師
 (依頼元:朝日村社会福祉協議会、対象者延べ31名、指導教員:根本賢一、参加学生4名)
- ⑭10月13日 「下洗馬地区地域サロン運動講座」の講師
 (依頼元:朝日村社会福祉協議会、対象者7名、指導教員:根本賢一)

- ⑮10月19日 「吉田四分会いきいきサロン運動講座」の講師
(依頼元:塩尻市社会福祉協議会、対象者42名、指導教員:根本賢一)
- ⑯11月6日 「原新田地区地域サロン運動講座」の講師
(依頼元:朝日蔵社会福祉協議会、対象者30名、指導教員:根本賢一)
- ⑰11月18日 「郷原分会お元気づくり広場健康体操」の講師
(依頼元:塩尻市社協地域福祉センター、対象者52名)
- ⑱12月20日、3月19日 「自立訓練事業所あかしや運動指導」の講師
(依頼元:自立訓練事業所あかしや、対象者延べ37名、指導教員:根本賢一、参加学生1名)
- ⑲3月2日 「本郷地区地域サロン運動講座」の講師
(依頼元:朝日村社会福祉協議会、対象者25名、指導教員:根本賢一、参加学生1名)
- ⑳3月29日 「三ヶ組地区地域サロン運動講座」の講師
(依頼元:朝日村社会福祉協議会、対象者24名、指導教員:根本賢一)

(ii) レクリエーション

- ①7月5日、11月8日、2月7日
精神障がい者デイケアたんぼぼ「レクリエーションと軽運動」の講師
(依頼元:朝日村、対象者延べ19名、指導教員:犬飼己紀子)
- ②10月4日 「こころケア・デイケアたんぼぼ交流会」の講師
(依頼元:山形村・朝日村、対象者11名、指導教員:犬飼己紀子)

d) 学生との連携による実践的活動

地域や関係機関などからの依頼を受けて、本ステーションの管理栄養士、健康運動指導士が専門的サポートをし、学科教員の指導のもと健康栄養学科とスポーツ健康学科の学生と連携して実施した活動。

(i) 地域住民組織の健康づくり研修会受託

- ①9月4日 「登山同好会会員の体力測定」
(依頼元:穂高登高会ワタスゲ、対象者9名、指導教員:中島節子、参加学生6名)
- ②11月26日 「新村ニュースポーツ大会における体力測定ブース担当」
(依頼元:新村公民館、対象者20名、指導教員:中島節子、参加学生10名)

(ii) 栄養健康教育

- ①11月19日 「松本山雅ホームタウンイベントブース担当」
(依頼元:松本市、指導教員:廣田直子、参加学生3名)

(iii) メニュー開発、メニュー提案

- ①「松本山雅スタジアム『食』第8期メニュー開発」
(依頼元:株式会社 松本山雅、指導教員:廣田直子)
 - a) 6月9日「スタめし企画説明会・勉強会」(参加学生9名)
 - b) 6月25日「アルウィン現地視察」(参加学生8名)
 - c) 7月～「アイデアの検討と提案」
 - d) 9月7日～随時「業者との打合せ」(5アイデア5業者、対象学生9名)
 - e) 10月4日「完成発表会」(参加学生9名)
 - f) 10月7日「販売と補助」(5商品販売、参加学生10名)
- ②「世界健康首都会議 健康弁当提案プロジェクト」
(依頼元:松本市ほか、指導教員:廣田直子 成瀬祐子、参加学生2名)
 - a) 8月9日「プロジェクト合同説明会・研修会」
 - b) 8月23・28日、9月8・29日「学内検討会」

- c) 11月8日「商品プレス発表会」(1品商品化)
- e) 11月17日「販売プレゼンテーション」
- ③「社員食堂ヘルシーメニュー提案」
(依頼元:株サイベックコーポレーション、指導教員:廣田直子、参加学生延べ9名)
- a) 7月5日「社員食堂ヘルシーメニュー提供打合せ」
- b) 12月8日「社員対象健康セミナー」(参加学生1名)
- ④「三陽商事商品展示会メニュー紹介」
(依頼元:三陽商事有限会社、指導教員:廣田直子、参加学生2名)
- a) 8月4日「勉強会」(参加学生1名)
- b) 10月4日「商品展示会におけるメニュー紹介」(参加学生1名)

e) サポート教員

- ①5月19日、7月7・28日「地域課題研究B(運動・スポーツイベント・林業研修会の現場および事前事後学習)」
(依頼元:松本大学教務委員会、対象者:地域課題研究B履修生2名)
- ②11月24日「大学入門」の講義 「行政栄養士の活動の実際について」
(依頼元:松本大学人間健康学部健康栄養学科矢内和博)
- ③12月8日「臨床栄養学実習Ⅱ」の講義 「臨床栄養学実習Ⅱにおけるロコモ度テストの演習」
(依頼元:松本大学人間健康学部健康栄養学科藤岡由美子)

f) その他専門活動

- ①「一日限りのレストラン」運営支援
(健康栄養学科主催の事業、指導教員:成瀬祐子)
- a) 4月19・26日、5月7日、6月5・19日、8月8日「打合せ会・試作等」
- b) 8月24日「学内試食会・報道発表」(40食提供)
- c) 9月17日「一日限りのレストラン 実施」(40食×2回提供)
- ②「ポリ袋で料理を作ろうコーナー」実施
(参加イベント:まつもと広域ものづくりフェア、指導教員:廣田直子、長野県栄養士会中信支部共催)
- a) 7月5日「災害非常時の食事支援について勉強会」(参加学生6名)
- b) 7月15日「ポリ袋で料理を作ろうコーナー開設」(対象18組、参加学生2名)

g) 広報活動

- ①ホームページブログ記事更新(ステーションのページ掲載)
- ②学報「蒼穹」第127・128・129・130号原稿執筆
- ③2月8日 健康づくり研究討論会「活動事例発表」(演題「学生の提案する『健康弁当』プロジェクトの取り組み 第2報」) (依頼元:長野県健康増進課、指導教員:廣田直子)
- ④3月27日 在学生オリエンテーション「ステーションの活動紹介」(新2・3・4年生)

h) 卒後フォローアップ事業

- ①2月17日 COC+講演会・卒業生フォローアップ研修会
講演会「アンガーマネジメント～イライラや怒りの感情コントロール方法～」
講師 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 関奈保子氏
会場:松本大学5号館

(8) 地域づくり考房『ゆめ』運営委員会

a) 考房『ゆめ』利用促進事業

(i) 考房『ゆめ』新入生へのオリエンテーション

4月6日(木): ウェルカムパーティーにて 学生プロジェクト紹介 (こどもあそび隊、キッズスポーツスクール、Sign、松本BBS会、ええじゃん栄村、◎いただきます!!、すすき川花火大会プロジェクト、「ゆめ」編集、あるおすタウン、キッズホッケー)

(ii) 講義内での『ゆめ』およびプロジェクトの紹介

4月11日・18日・25日(火)「基礎ゼミナール(総合経営学部)」各ゼミナール担当教員
 5月1日(月)「地域社会と大学教育(人間健康学部)」住吉 廣行学長
 5月8日(月)「国語科概論(教育学部)」國府田 祐子准教授
 5月24日(水)「基礎ゼミナール(松商短期大学部)」各ゼミナール担当教員
 6月2日(金)「基礎ゼミナール(人間健康学部 健康栄養学科)」各ゼミナール担当教員
 6月14日(水)「地域社会と大学教育(教育学部)」住吉 廣行学長

(iii) 学生企画による「ゆめカフェ」開催

考房『ゆめ』で活動に取り組む学生が直接新入生に加入の呼びかけや質問を受けて懇談
 4月7日(金)～8日(土)、17日(月)～19日(水)

(iv) 平成29年度地域連携事業利用実績

年間受付数	年間参加件数	年間延参加人数
65件	27件	145人

※考房『ゆめ』事務局を通じて参加した件数

b) 学生と地域との連携による社会貢献活動へのコーディネート事業

(i) 学生の自主企画による活動

地域づくり学生チャレンジ奨励制度対象プロジェクト(6プロジェクト…具体的内容は後述)

(ii) 地域からの依頼事業への参加…全24件 ※詳細は学生版アニュアルレポートに記載

個人参加: 延べ106人

学生プロジェクトによる参加: 延べ8団体

※信州三之宮式内沙田神社御柱祭、楽団ケ・セラ定期演奏会、新村地区オープン大会、新村地区市民運動会、新の里ウォークラリー2017、河西部ワンパウンドふらば〜るバレー大会(プロジェクト・個人両方で参加)

(iii) 地域とのパートナーシップ事業(2プロジェクト)

4月～: すすき川花火大会プロジェクト

花火大会とのコラボ企画立案と運用、広報活動への参画、事務局と一緒に花火大会を運営。

[学生・すすき川花火大会実行委員会]

4月～: 松本BBS会

少年少女の成長の手助けと非行のない地域社会を目指す。[学生・社会人・保護司会]

c) 考房『ゆめ』自主事業

(i) 平成29年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度

【前期審査会: 平成29年度3月15日実施】 応募プロジェクト: 4 認定プロジェクト: 4

①松本大学こどもあそび隊(30,000円)

親子・親同士のコミュニケーションづくりの場として年8回子ども広場の開催

②Sign (32,000円)

手話を通じて聴覚障がい者への理解を広める 他

③ええじゃん栄村 (20,000円)

食を通して栄村の活性化のお手伝い

④◎いただきます!! (30,000円)

松本市環境政策課と連携し、食品ロスを削減するためのレシピの作成、残り物で出来る料理の料理教室の実施。

【後期審査会：9月13日(水)実施】 応募プロジェクト：2 補正申請：1 認定プロジェクト：3

①ゆめ編集 (93,000円)

学生による学生のための情報を伝える「Volere!!」の編集・発行

②あるぷすタウン (74,000円)

子ども達が楽しみながら仕事をし、社会の仕組みを学び、子どもの頃から地元に興味を抱く場づくり

③ええじゃん栄村 補正額申請 (20,000円) 補正後合計 (40,000円)

栄村の地域の方々との交流を通して栄村活性化のお手伝いを行う

【報告会開催：3月6日(火)実施】

①松本大学子どもあそび隊 (交付奨励金額30,000円)

- ・親子・親同士のコミュニケーションづくりの場として年4回子ども広場の開催し、未就学児向けに工作や歌、読み聞かせを行うイベントを実施した。
- ・新村地区の未就学児のママさんサークル・ひよこの会と連携して「お兄さんお姉さんと元気に遊ぼう」をテーマに公民館福祉広場を会場に親子、大学生との交流を実施した。

②Sign (交付奨励金額32,000円)

- ・手話学習会などの継続に加えて、障がい者が関わる各種イベント参加を通じて多くの団体や個人と交流し、障がいについて幅広く学んだ。
- ・プロジェクトメンバー以外の学生を交えた手話勉強会を実施した。

③ええじゃん栄村 (交付奨励金額40,000円)

- ・復興支援から地域活性化へ目的をシフトし、年間4回の訪問を通じて、栄村の方々と交流を行った。
- ・梓乃森祭に栄村から代表団が来学され、学生が開発した和風トマトスープの販売を行いながらともに栄村の魅力をアピールした。

④◎いただきます!! (交付奨励金額30,000円)

- ・中山小学校からの依頼で5・6年生全員を対象にまるごとレシピ、リメイクレシピを試食しながら、食品ロスを考える料理教室を行った。
- ・第1回食品ロス削減全国大会プレイベントに協力して、銀座NAGANOでブロッコリーの茎のきんぴらなど5品の試食会を行った。

⑤「ゆめ」編集 (交付奨励金額93,000円)

- ・新村を学生に身近に感じてもらうために、ふらばーるバレー、運動会、ウォークラリーなど地域行事にメンバーが積極参加して記事に反映させた。
- ・月刊イクジイ編集長を講師に学習会を行い、読者に知らせたい事の絞り込みや読者の感想や双方向の交流を引き出すための切り口を学んだ。

⑥あるぷすタウン (交付奨励金額74,000円)

(後段参照)

(ii) 第51回梓乃森祭 ゆめひろば開催

開催日：10月14日(土)・15日(日)

場 所：松本大学5号館

内 容：活動紹介パネル数：10プロジェクト、コーナー出展数：2プロジェクト

- ・展示コーナー：学生プロジェクト活動紹介パネル、すすき川花火大会写真・絵画コンテスト入賞作品、松本市環境政策課によるみんなで減らそう食品ロスの展示、松本市波田地区消費者の会による再生食器ができるまでの展示・不用食器の無料配布（学生4名サポート）
- ・販売コーナー：第2コムハウス、障害者就労支援施設 森のこびと、新村地区マーブルの会（学生6名サポート）
- ・子ども向けコーナー：上高地線応援隊によるプラレールで遊べるコーナー、アルプちゃん（学生9名サポート）
- ・無料湯茶おやすみ処：新村地区マーブルの会（学生6名サポート）

参加団体：16団体（学生プロジェクト：10団体、地域：6団体）

支援内容：プログラム内容相談・調整

(iii) 平成29年度COC地域フォーラム

開催日：2月24日（土）13：00～18：00 於：松本大学512・513教室（5号館1階）

テーマ：ごじょってく 「やりたい!」＝学生と「やってほしい!」＝地域を、繋ぐ会

内 容：①パネルディスカッション

テーマ：学生と地域がつながる方法

登壇者：LODEC Japan代表 たつみかずき氏、地域づくり考房『ゆめ』運営委員長 廣瀬豊 准教授

②参加団体によるプレゼン

③分科会

④懇親会

⑤投票形式による連絡先交換

参加者：学生20名（本学学生19名、他大学学生1名）、教職員12名、外部パネリスト1名、外部団体16名、一般9名 計58名

参加団体：ご当地〇〇部（ごとうちまるまるぶ）、麻績村観光協会、企業組合 労協ながの 安曇野営業所、ヤングにはんご教室、松本ユース平和ネットワーク、NPO法人アルウィズ

企画・運営：LODEC Japan合同会社、地域づくり考房『ゆめ』運営委員会・教職員・学生スタッフ

学生スタッフ：塚田慎吾、百澤琴乃、金子千尋、有賀大介、柴田文、南雲彩香、廣井雪乃

打ち合わせ：12月～2月

d) 学生と地域の方でつくる松本大学共催イベントへのサポート事業

(i) あるぷすタウン

開催日：平成30年2月11日（日）～12日（月）10：00～16：00

内容：子どもが楽しみながら街を知る、仕事を知る、「子どもだけのまち」

参加者：小学校4年生48名、小学校5年生72名、小学校6年生58名、中学校1年生7名、

中学校2年生1名、中学3年生1名 計184名 2日間延べ374名

企画・運営スタッフ：あるぷすタウン実行委員会（学生28名）

サポート：本学学生当日ボランティア50名、高校生当日ボランティア67名

他校学生当日ボランティア6名、企業・団体専門家38ブース82名

e) センター組織の整備充実

(i) 学生の活動への支援体制の充実

学生スタッフ等の配置

内容：ゆめ学生スタッフ7名(相談員・情報収集・発信・イベント企画・運営・実施)

(ii) 各種会議開催

- ・運営委員会：7回開催
- ・職員会議：4月～3月、週1回
- ・学生スタッフ会議：年15回(4月～3月、月1～2回)
- ・リーダー会議：年6回
- ・救急応急対応研修会 6月中下旬 前後半2回、延べ4回開催

(iii) 研修・交流

- ・考房『ゆめ』全プロジェクト前期研修会・三大学合同合宿交流会 9月8日(金)～9日(土)
会場：国立妙高高原青少年自然の家
参加者：学生70名、教職員7名
松本大学53名、共愛学園前橋国際大学14名、田園調布学園大学10名
テーマ：広げる～縦と横のつながりを深めよう～
- ・考房『ゆめ』29年度活動報告会・交流会：H30年3月6日(火)9：40～16：00
参加者59名：(学生50名、一般3名、教職員6名)
内容：講師 LODEC Japan 代表 辰巳 和生氏、ディレクター 長谷川 雄一氏
リーダー研修 リーダーの役割と話し合いの進め方
全体研修 チームの一員としての役割、来年度活動テーマ(ワーク)
昼食交流会、活動報告(プレゼンテーションとポスターセッション)、講評他

(iv) アンケート

- ・目的 考房『ゆめ』の活動への満足度や行事、施設、職員対応への要望を把握する
- ・概要 プロジェクトリーダーを通じて無記名のアンケート用紙を配布し、31通を回収。
活動を通じて学んだ事、楽しかった経験や悩んでいる事、改善要望や職員及び教員への要望を集約した。

(v) 視察・研修等受け入れ

大学：6件

長野大学 端田篤人准教授、学生2名(8月1日)
新潟国際情報大学 平山学長 他29名(8月25日)
豊橋創造大学 学長 他5名(8月30日)
高崎商科大学 松元准教授 他3名(9月19日)
宮崎学園短期大学 井上浩義准教授 他1名(11月22日)
麗澤大学地域連携センター 石塚高秋氏 他1名(11月21日)

その他：2件

(vi) 視察

日本福祉教育・ボランティア学習学会(会場：長野大学)
日程：12月2日(土)～3日(日)
参加者：学生7名、教職員4名

(vii) 広報関係

①大学の発行物

- ・ウェブサイト(ゆめHP)、学生ブログによる情報発信

- ・ Facebookを活用した地域フォーラム「ごじょってく」の情報発信
- ・ 発行物
ゆめ通信(第38号～第40号)、平成29年度中間活動報告、平成29年度活動報告、平成29年度地域フォーラム報告、Volere!!vol.6(学生プロジェクト「ゆめ」編集)
- ・ 学内発行物
学報「蒼穹」に掲載(第126号～第129号)

②メディア関係

【テレビ】

- | | | |
|---------|-------|-------------------------------|
| テレビ東京 | 9月 | 銀座NAGANOで◎いただきます!!が食品ロス試食イベント |
| SBCテレビ | 9月30日 | 松本市の広報番組内で◎いただきます!!の中山小料理教室紹介 |
| NHK長野 | 2月12日 | 定時ニュース：あるぷすタウン紹介 |
| テレビ松本 | 2月12日 | 報道番組：あるぷすタウン紹介 |
| あづみ野テレビ | 2月 | あるぷすタウン紹介 |
| 長野朝日放送 | 3月23日 | 定時ニュース：ワン♡ハートまつもと (Sign協力) |

【ラジオ】

- | | | |
|--------|--------|--|
| 文化放送 | 5月30日 | 「斎藤一美ニュースワイドSAKIDORI」にて
◎いただきます!!インタビュー |
| FMまつもと | 番組制作協力 | 番組名：松本大学プレゼンツ地域協力NEW WINDまつもと
放送期間：4～9月
内容：防災関連の内容と番組時間を二分し、考房『ゆめ』の活動や
学生プロジェクトの紹介を行った。
6月～9月 すずき川花火大会宣伝CM |

【新聞】

- | | | |
|---------------|-----------|-------------------|
| 朝日新聞 | 5月25日(木) | ◎いただきます!! |
| 信濃毎日新聞 | 5月23日(火) | ◎いただきます!! |
| | 7月28日(金) | すずき川花火大会プロジェクト |
| | 9月6日(水) | ◎いただきます!! |
| | 10月8日(日) | あるぷすタウン |
| | 12月27日(水) | キッズホッケー |
| | 2月20日(火) | 地域フォーラム「ごじょってく」 |
| | 3月2日(金) | Sign |
| 中日新聞 | 6月11日(日) | キッズスポーツスクール |
| | 6月22日(木) | すずき川花火大会プロジェクト |
| | 9月6日(水) | ◎いただきます!! |
| 中日新聞月刊『Syun!』 | 6月号 | キッズホッケー |
| | 3月号 | あるぷすタウン |
| 市民タイムス | 4月6日(木) | 「ゆめ」編集 |
| | 5月20日(土) | こどもあそび隊 |
| | 5月24日(水) | キッズホッケー |
| | 6月18日(日) | 地域連携事業「松本かえるまつり」 |
| | 6月28日(水) | すずき川花火大会プロジェクト |
| | 8月8日(火) | すずき川花火大会プロジェクト |
| | 8月11日(金) | すずき川花火大会プロジェクト |
| | 9月6日(水) | ◎いただきます!! |
| | 11月2日(木) | すずき川花火大会プロジェクト |
| | 11月21日(火) | 地域連携事業「サンタプロジェクト」 |

- 2月1日(木) あるぷすタウン
 2月10日(土) あるぷすタウン
 2月12日(月) あるぷすタウン
 2月22日(木) 地域フォーラム「ごじょってく」
 タウン情報 5月30日(火) キッズスポーツスクール
 6月6日(火) 地域連携事業「松本かえるまつり」
 6月27日(火) ◎いただきます!!
 7月25日(火) すずき川花火大会プロジェクト
 8月12日(土) すずき川花火大会プロジェクト
 9月26日(火) ◎いただきます!!
 10月17日(火) ◎いただきます!!
 2月27日(火) あるぷすタウン
- 妻有新聞(新潟県地方紙)
 10月28日(土) ええじゃん栄村
 3月24日(土) ええじゃん栄村
- 【雑誌・その他】
 ・雑誌・広報誌掲載
 週間AERA 11月27日号 すずき川花火大会プロジェクト他
 月刊イクジィ 4月号～30年3月号 こども広場、キッズスポーツスクール、梓乃森祭の案内やプロジェクトの活動紹介
- 栄村社協だより ええじゃん栄村

(9) 学生委員会

a) 委員会開催

① 全学学生委員会

- 4月19日 クラブの部長の選出について、学外指導者の選任について等
 6月2日 日本学生支援機構奨学金休止処理について、学生処分について等
 6月30日 クラブの部長の選出について、学生処分について等
 7月4日 学生処分について
 7月21日 サッカー部の今後の取組みについて、新村地区からの苦情について等
 8月18日 スポーツ特待生・被災学生支援の継続について、経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度について等
 10月4日 学長賞の選出について、同窓会クラブ補助金について等
 11月8日 薬物防止講習会開催について、大学祭の反省について、学生駐車場について等
 12月6日 平成29年度補正予算等について、義守大学(台湾)との学生交流について等
 1月17日 経済状況悪化等に伴う修学困難な支援の対象者募集について等
 3月1日 経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度について、スポーツ特待生・被災学生支援の継続について等

② 学生委員会教育学部部会

- 10月25日 来年度のフレッシュマンセミナー、スキルアップセミナーについて等
 1月31日 学生の支援体制について等

③ 学生委員会短大部会

- 4月18日 自己点検評価報告について、学友会局員決めについて等
 6月6日 卒業アルバムの継続について、夏季体育大会について等
 7月4日 卒業アルバムについて、長野県私立短期大学体育大会について等
 9月7日 卒業アルバムについて、リーダー研修会の内容について等

- 10月3日 今後の卒業アルバムについて、学友会改選の日程について等
 12月19日 秋季体育大会開催報告について、平成30年度年間行事予定について等
 ④大学祭実行委員会
 5月16日 テーマ、学祭の方針説明、主な企画内容について等
 10月4日 進捗状況確認、模擬店、レンタル品のルールについて等
 11月30日 反省事項について等

b) 事業・活動

- 4月3日 学生教育研究災害保険申込み(総合経営学部、短期大学部新入生)
 4月6日 ウェルカムパーティー(全学)、短期大学部新入生歓迎会、短期大学部学友会学生大会(1年生)、松本大学学生ガイドブック「START!!」発行
 4月11日 短期大学部学友会学生大会(2年生)
 4月11日 日本学生支援機構定期採用者向け説明会(～14日)
 4月13日 トレーニングルーム講習会(26日・5月12日)
 4月17日 日本学生支援機構奨学金予約採用者スカラネット入力説明会(～21日)
 4月24日 学友会報道局「文章・ブログの書き方講習会」
 4月26日 学部学友会学生大会
 4月29日 人間健康学部フレッシュマンフェスティバル
 5月3日 松本子どもまつり(学友会渉外局等参加)
 5月8日 日本学生支援機構奨学金定期採用者スカラネット入力説明会(～11日)
 5月12日 日本学生支援機構奨学金定期採用者面接(～18日)
 5月24日 短期大学部交通安全講話(1年生)
 5月27日 総合経営学部1年生フェスティバル
 6月2日 クラブ協議会・サークル連合総会
 6月12日 日本学生支援機構奨学金予約採用者返還誓約書説明会(～14日)
 6月14日 短期大学部夏季体育大会
 6月26日 日本学生支援機構奨学金定期採用者返還誓約書説明会(～28日)
 6月28日 学部学友会バーベキュー大会
 7月5日 大学院進学説明会(日本学生支援機構奨学金の説明)
 7月6日 花火大会
 8月5日 松本ほんほん
 8月7日 学友会新聞「Page1」Vol.9(通巻112号)発行
 8月18日 第17期経済状況悪化に伴う修学困難な学生への支援制度最終審査
 8月23日 湘北短期大学リーダーズキャンプ(～24日)
 9月8日 第23回長野県私立短期大学体育大会
 9月14日 クラブ協議会・サークル連合リーダーズキャンプ
 9月19日 短期大学部リーダー研修会(～20日)
 9月30日 学友会4 学部合同体育大会
 10月13日 大学祭準備、前夜祭
 10月14日 第51回大学祭「梓乃森祭」(～15日)
 10月26日 日本学生支援機構臨時採用説明会
 11月3日 学部学友会3学部合同レクリエーション大会
 11月6日 学友会焼き芋大会
 11月15日 学友会秋祭り
 11月22日 学友会短期大学部秋季体育大会
 11月24日 学友会人間健康学部体育大会

- 11月28日 学友会総合経営学部1年生薬物・防犯講習会
- 12月1日 イルミネーション点灯(～24日)
- 12月4日 日本学生支援機構奨学金返還説明会(～7日)
- 12月6日 スポーツ健康学科1年生薬物・防犯講習会
- 12月13日 総合経営学部体育大会
- 12月19日 学友会クリスマスパーティー
- 12月21日 短期大学部学友会引継ぎ会
- 12月22日 健康栄養学科1年生薬物・防犯講習会
- 12月25日 学友会新聞「Page1」Vol.10(通巻113号)発行
- 1月9日 日本学生支援機構奨学金適格認定(継続願)手続説明会(～16日)
- 1月30日 短期大学部学生大会(2年生)
- 1月31日 短期大学部学生大会(1年生)
- 2月7日 4学部合同次年度学友会引継ぎ会
- 2月9日 スノーボード教室
- 2月13日 クラブ協議会・サークル連合リーダーズキャンプ
- 2月23日 義守大学学友会公式訪問団オリエンテーション
- 3月5日 義守大学学友会公式訪問(～8日)
- 3月8日 第18期経済状況悪化に伴う修学困難な学生への支援制度最終審査
- 3月24日 短期大学部ウェルカムフェア
- 3月26日 消費者トラブル防止講習会(～28日)

c) 対外的活動

- 3月9日 松本子どもまつり実行委員会
- 4月13日 松本子どもまつり実行委員会
- 5月12日 あたらしの郷協議会総会
- 5月23日 高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
- 6月1日 松本子どもまつり実行委員会
- 6月14日 平成29年度長野県青少年育成県民会議理事会
- 6月28日 献血
- 7月5日 あたらしの郷協議会 地域振興部会
- 7月14日 松本ぼんぼん連長会議
- 7月25日 高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
- 8月4日 総合グラウンド運営会議
- 8月5日 松本ぼんぼん
- 8月23日 高等教育コンソーシアム信州大学祭実行委員会合同記者会見
- 9月3日 新村運動会
- 9月26日 高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
- 11月4日 新村文化祭(～5日)
- 11月21日 高等教育コンソーシアム信州学生支援部会
- 11月24日 あたらしの郷協議会 地域振興部会

(10) 就職委員会

a) 委員会開催

6月12日(月)

- ・セミナー形式のインターンシップが増加傾向にあり、採用プロセスの一環に含まれつつある状況であることが報告された。

- ・教育学部における就職支援について意見交換を行った。キャリアセンターによる具体的な支援については、後期以降に具体的な検討を始める予定であることが報告された。
- ・就職活動を進める際に、何らかの障がいあるいはメンタル面の支援が必要な学生の対応について意見交換を行った。
- ・メンタル面の支援が必要な学生について、健康安全センターを窓口とする基本的な相談体制を利用しつつ、ゼミ・クラス担当教員とキャリアセンターが情報共有するなど全学的な取り組みが必要である点を確認した。また、キャリアセンターより公的な外部機関の利用や協力体制等について検討予定であることが報告された。
→2018/2/19(月) 信州大学へ訪問し、取組状況等の説明を受けた。
- ・キャリアセンターより内定承諾後の辞退防止のため、内定者・決定者に対する後期以降の意思確認について問題提起がなされた。適切な指導を目指そうとする一方で、学生によっては意思確認を辞退可能な機会と捉えられかねない可能性があるため、慎重に検討すべきとの意見が挙げられた。
- ・例年6月の土曜日開催としている学内合同企業説明会の設営準備に際し前日金曜日の授業に影響のある現状を踏まえ、改善案について意見交換を行い継続して検討することとした。
→2018年度は土曜日当日の早朝準備とすることとなった。

10月31日(火)

- ・キャリアセンターより、次年度の保護者説明会をこれまでの5月開催から10月開催とする案が示され、審議の結果了承された。就職活動が間近に迫る10月に開催することにより、参加人数の増加を図ることが主な目的で、事後アンケートにより検証することとした。
→2018/10/28(日)の開催が決定した。
- ・インターンシップの受入事業所、実施期間等の報告を踏まえ、企業からのインターンシップ評価報告書の開示を求める意見が挙げられ、後日報告することとした。
- ・求人受付受理・公開のWEB化を図るため、次年度からWEB求人サービスを導入する予定であることが報告された。主な特徴として、キャリアセンターの入力作業を介さず、学生は企業による求人情報の入力データをWEB上で閲覧できるシステムであることが報告された。
→2018年4月から(株)ジェイネットの「求人受付NAVI」が導入された。
- ・キャリアセンターから教員へ配信している求人情報等について、WEB求人サービス導入に伴い、次年度以降はこれまでの様式にこだわらず、求人情報のCSVデータ等を必要最低限の加工でタイムリーに提供する予定であることが報告された。
- ・学務システム「メソフィア」における、学生及びキャリアセンターの情報登録状況が報告された。よりタイムリーな就職活動状況や進路決定状況等の把握に繋げるため、学生の情報登録を今後さらに促進していきたい意向であることが、キャリアセンターから報告された。
- ・現在エクセルで作成しているゼミ/クラス別進路状況一覧をシステム化し、様式を変更する予定であることがキャリアセンターから報告された。現在検討中の様式案が示され、様式の決定はキャリアセンターに一任することとした。
→2018年度から導入することとなった。
- ・キャリアセンターからの企業訪問数の報告を受け、企業訪問の成果が学生に反映されているかについて、質問が挙げられた。行事等参加協力依頼、求人情報取得、採用試験進捗確認や御礼等を通じてバックアップしている一方、直接学生へ反映されているかは不明確であり、今後検討することとした。また、企業訪問先選定方法の質問と共に、意図した就職実績に結びつけるための企業訪問・開拓について要望が挙げられた。今後、教職員と協力して行うことのできる手段や方法について、検討することとした。
- ・学生の合理的配慮が求められる中、出口だけの問題ではない就職支援、学生支援の実情や、求められる対応等について意見交換を行った。喫緊の課題として精神保健等専門性の高い支援の必要性、また中長期的課題としてキャリア面談等による学生情報を共有するためのルール作り等が挙げられた。

b) 事業活動

- ・ 求人依頼 (平成29年1月、約12,000事業所)
- ・ 学内合同企業説明会の開催 (2017/3/7 (火)、3/23 (木)、6/17 (土))
- ・ 保護者就職説明会の開催 (学部:5/27 (土)、短大:11/25 (土))
- ・ キャリア面談 (学部2年:5・6月、学部4年・短大2年:8・9月、学部3年・短大1年:2月、新入生:2・3月)
- ・ インターンシップ

c) 各学部の部会開催

- ①総合経営学部…4/5 (水)、5/9 (火)、6/7 (水)、7/6 (木)、8/23 (水)、9/29 (金)、10/31 (火)、12/7 (木)、2/1 (木)
- ②人間健康学部…4/7 (金)、5/15 (月)、6/7 (水)、7/10 (月)、8/28 (月)、10/2 (月)、11/6 (月)、12/11 (月)、1/15 (月)、2/7 (水)、3/19 (月)
- ③松商短期大学部…4/12 (水)、4/26 (水)、5/10 (水)、5/24 (水)、6/7 (水)、6/21 (水)、7/5 (水)、7/19 (水)、8/2 (水)、9/27 (水)、10/11 (水)、10/25 (水)、11/14 (火)、11/28 (火)、12/13 (水)、12/21 (水)、1/10 (水)、1/24 (水)

2. 研究推進部門

(1) 研究推進委員会

a) 委員会開催

平成29年4月26日(水)

- ・私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」募集について説明がなされ、審議の結果原案どおり承認され、全学協議会へ上程することになった。
- ・個人研究費交付等に係る内規及び学術助成費交付等に係る内規の改定案について提案がなされた。

平成29年5月31日(水)

- ・「大学間連携等による共同研究」への申請案件について審議がなされ、山田一哉教授による大阪大谷大学薬学部との共同研究が異議なく承認された。

平成29年6月28日(水)

- ・「大学間連携等による共同研究」への申請案件について審議がなされ、守一雄教授による愛知大学文学部との共同研究が承認された。承認にあたり、学内研究費のルールについて確認がなされ、守教授に対する研究助成は新任者に対する研究室セットアップ経費であることを考慮し、申請を認めることとした。さらに、所要経費の内訳については、旅費交通費は所要経費の50%以内とする、英文校正料は削除することとした。

平成29年10月25日(水)

- ・学内研究費に係る平成29年度補正予算申請および平成30年度予算申請等に係る日程について提案がなされ、審議の結果異議なく承認された。平成29年11月2日付で全専任教員に案内通知を行うとともに、各学部教授会で報告する。また、新任教員に対する学術助成研究費については、研究室セットアップ等に伴う経費として、従来通り、一人当たり30万円を予算計上することを確認した。
- ・学内研究費取扱要項をまとめたので意見集約を行い、意見を要項に反映させたうえで、学内研究費予算申請案内とともに配付することとした。

平成29年11月22日(水)

- ・委員長より、前回の委員会での審議を受け開催されたWGにおける協議結果が報告され、研究誌編集長(研究推進委員長)の負担軽減を目的に、「各研究誌に編集責任者を置く」等、編集体制についての提案を、文言を一部変更のうえ承認された。なお、本内容については文書にまとめ、各教授会において配付し、周知を図ることとした。

平成30年2月28日(水)

- ・平成30年度の研究予算について以下の審議を行った。

(a) 研究助成費

委員長より、資料「平成30年度研究助成費の査定について」に基づいて行った研究助成費の委員長案の提案がなされ、審議の結果承認された。

(b) 地域志向(地域総合)研究費

委員長より、地域志向(地域総合)研究費の募集経過について説明がなされ、COC事業が本年度を以って終了することから、地域志向研究分野については研究推進委員会において予算枠を設け、研究助成費として募集を行ったことが説明された。そのうえで、研究助成費については、「1人1件」の学内ルールがあるが、30年度分予算申請に限り重複申請を認めたいと提案がなされ、重複申請については30年度分に限ること、研究発表の義務があることを確認し、承認された。

- ・次年度以降の研究誌の査読のあり方について最終確認を行った。
- ・資料に基づき公的研究費の管理・監査のガイドラインに基づく誓約書についての説明がなされ、平成30年4月2日の合同教授会において、誓約書の配付と説明を行い、提出を依頼することとし

た。

b) 事業・活動

- ・平成30年度個人研究費・研究助成費の募集、査定、査定結果通知
- ・第6回松本大学教員研究発表会開催

上記研究発表会を、下記両日13時より5号館会議室において開催した。教育学部教員の増員により発表演題数が増え、両日とも2会場での開催となった。

3月5日(月) 発表者11名／聴講者 39名

3月6日(火) 発表者 9名／聴講者 35名

1) 発明管理部会

本部会は、平成28年8月1日に施行された「松本大学知的財産管理委員会規程」に基づいて設置された。本規定の目的は、松本大学及び松本短期大学部（以下本学）の教職員等が創造した発明等の取扱いに関する基本的事項を規定し、その発明等を行った教職員等の権利を保障すると共に、知的財産権の適正な保護及び活用を図ることにより、本学における学術研究の振興及び社会貢献に寄与する、というものである。なお、発明とは特許法、実用新案法、意匠法、著作権法、種苗法等の法令により権利やその保護が定められているものとし、本学による費用、あるいはその他の支援により創造されたものをいう。

発明管理部会は、上記規定に基づき、本学における職務発明等に関する事項を審議するため設置された。委員会の構成や審議事項を以下に示す。

①発明管理部会の構成と審議事項

本部会は、研究推進委員長、事務局長、学長が委嘱する学内外の有識者若干名によって構成され、部長には研究推進委員長があたる。部会は届け出のあった事例について、職務発明の該当性や本学の知的財産権の承継等について審議することとされている。

②活動

22017年度においては、特に発明の届出は無かったため、発明管理部会による審議は行わなかった。

2) 研究誌編集部会

a) 委員会開催

4月26日(水)

部会長より、松本大学研究誌規程に規定される著者の資格を持たない学生を、共著者とする投稿原稿の取扱いについて提案がなされ、審議の結果、指導教員（筆頭執筆者）の推薦書（必要性・位置付け・貢献度等）を含めた査読を行うことで認めることとした。

また、松本大学特別調査研究員（松本市地域づくりインターン生）の活動報告を、地域総合研究第18号へ掲載することが報告された。

10月25日(水)

守委員より『教育総合研究』の編集体制の変更について、『松本大学研究誌規程』の改正についての提案とその説明がなされた。審議の結果、両議案について過去の検討経緯等を踏まえ、各学部代表者（木藤・山田・増尾・守）による協議検討を行い、結果を部会に報告することとした。

11月22日(水)

「教育総合研究（創刊号）」の表紙について、①分類の英語表記変更、②松商短期大学部のロゴタイプの追加、③松本大学及び松商短期大学部のロゴマークの追加について提案がなされ、審議の結果、承認された。

部会長より、他大学、所属学会における研究誌のカラー印刷化の動向について報告がなさ

れた。続いて、本学の各研究誌のカラー印刷化について審議がなされ、コスト面、活用方法など多角的視点からの検討が必要であるとし、継続審議となった。

b) 事業・活動

① 「地域総合研究第18号Part1」発行

4月2日 合同教授会にて執筆意向調査案内（4月7日締切）

4月11日 追加募集（追加募集締切4月17日）

5月8日 原稿締切

5月 提出原稿より査読

7月31日 発行

※論文7編、研究ノート1編、調査・事例報告1編の合計9編を掲載した。

② 「教育総合研究」創刊号 発行

7月12日 執筆意向調査案内（8月18日締切）

9月4日 原稿締切

9月 提出原稿より査読

11月30日 発行

※論文7編、研究ノート5編、調査・事例報告3編、教育実践報告3編の合計18編を掲載した。

③ 「松本大学研究紀要第16号」発行

11月1日 執筆意向調査案内（11月30日締切）

12月15日 原稿締切

12月 提出原稿より査読

3月12日 発行

※論文4編、研究ノート3編、調査・事例報告1編、教育実践報告2編、資料1編の合計11編掲載した。

3) 松本大学出版会運営部会

a) 事業・活動

・既存の書籍についての販売、在庫管理等を行った。

4) 地域総合研究センター運営部会

a) センター運営部会の構成

運営委員長（センター長） 1名

運営委員 教員 11名（大学院1名、総合経営学部3名、人間健康学部3名、教育学部3名、短期大学部1名）

特別調査・研究員 11名

外部研究員 2名

事務局 6名

b) 会議

4月26日（水）

・特別調査研究員の採用選考について

地域連携（COC）戦略会議より推薦のあった特別調査研究員（継続7名、新規採用4名）について、審議の結果、本年度特別調査研究員として採用することが承認された。

〈継続〉

1期生：岩垂 綾・塚原有香・濱由佳子・松本尚子・丸山裕也

2期生：伊藤実沙子・一色美月

以上7名

〈新規〉

- ・小林克己 (H28年度 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 卒)
- ・中島麻衣 (H28年度 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 卒)
- ・槇石和直 (H28年度 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 卒)
- ・北原保奈美 (H23年度 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 卒)

c) 事業・活動

①地域との連携事業

i) 松本市との提携活動 (継続事業)

(a) 松本市地域づくり研究連絡会

- 担当：総合経営学部総合経営学科 木村晴壽教授
 総合経営学部観光ホスピタリティ学科 白戸 洋教授
- ・地域づくり市民活動研究集会 平成30年2月18日 (日)
 - 会場：Mウイング (中央公民館)

(b) 観光ホスピタリティカレッジ企画・運営 (事務局業務)

- 観光ボランティアガイド養成講座「松本kirari案内人コース」開講 (全8講座予定)
 ※一般講座については定員20名とし、参加者多数 (61名) のため抽選とした。
- 第1講【公開講座】：2月21日 (水) 午後6時30分～8時 会場：Mウイング6Fホール
- ・開講式
 - ・開講記念パネルディスカッション
- テーマ「松本の魅力どこまで知っていますか？」

<パネリスト>

- 秋本奈緒美氏 (女優・松本市観光大使)
 荒川清司氏 (雑誌『KURA』主宰)
 高松伸幸氏 (NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団)
 加藤ケビン氏 (多文化人財センター登録アドバイザー)
- 第2講：3月6日 (火) 午前10時～正午 会場：Mウイング
 講義「観光案内人にとって大切なこと」 参加人数：15名
- 第3講：3月27日 (火) 9時30分～正午 会場：松本市城北公民館 視聴覚室
 内容：フィールドワーク「ガイドするための素材探し」 参加人数：18名
- ※第4講～第8講については平成30年度実施

ii) 地域づくりインターンシップ戦略事業

- ・内容／松本市と「地域づくりインターンシップ戦略事業業務委託契約」を締結し、今年度三期生として新たに4名を加え、地域総合研究センター特別調査研究員11名が松本市内の各地区地域づくりセンターを活動拠点として、地域づくりに関する研究活動等を行った。
- ・特別調査研究員・活動地区
 - 一期生 岩垂 綾：入山辺地区担当
 - 塚原 有香：鎌田地区担当
 - 松本 尚子：奈川地区担当
 - 濱 由佳子：中央地区担当
 - 丸山 裕也：四賀地区担当
 - 二期生 伊藤実沙子：芳川地区担当
 - 一色 美月：新村地区担当
 - 三期生 中島 麻衣：庄内地区担当
 - 槇石 和直：本郷地区担当

北原保奈美：中山地区担当
小林 克紀：田川地区・寿地区

②受託事業窓口業務

(a)平成29年度「松川村観光振興支援業務」

相手先機関：松川村／担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 山根宏文 教授

(b)平成29年度キラリ☆アクア健康教室

相手先機関：筑北村／担当：人間健康学部スポーツ健康学科 根本賢一 教授

(c)安曇野市子ども学習支援事業

相手先機関：安曇野市／担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 尻無浜博幸 教授

(d)生坂村連携・協力協定による活動

・生坂村通学合宿における食育活動

担当：人間健康学部健康栄養学科 廣田直子 教授

・域学連携活動「こたろう大学」

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 犬飼己紀子 教授

・筋力向上プログラム

担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子 専任講師

(e)6次産業推進にかかわる研究開発業務

相手先機関：有限会社あづみの食品・株式会社まるたか

担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師

(f) 6次産業推進

相手先機関：斉藤農園／担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師

(g)視機能に対するドナリエラ・バーダウィル摂取の影響

相手先機関：株式会社日健総本社／担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博 専任講師

(h)健康ウォーキング事業

相手先機関：国営アルプスあづみの公園管理センター

担当：担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子専任講師

(i)親子プログラミング教室業務

相手先機関：安曇野市／担当：総合経営学部総合経営学科 室谷 心教授

③松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト活動支援業務（運営管理と会計処理）

大街道小学校児童・保護者・教職員に対するウンセリング

・カウンセリングおよび引き継ぎ／

3回6日（6月15日・16日、10月12日・13日、3月8日・9日）

・花山合宿支援／6月20日～22日（教員1名、学生4名）

④『地域総合研究第18号』発刊

Part1（9月30日）

Part2（10月30日）

⑤外部研究員2名の活動

①中野和朗 キャリアスクール テーマ「ファウスト」※資料の作成

②建石繁明 新聞等への投稿活動

(2)研究倫理委員会

a) 委員会開催

平成29年7月26日(水) 15:10~15:40

- (1) 委員会では、ヒトを対象とした申請研究が倫理的・法のおよび社会的観点から適正に遂行されるための要件を満たしているかを審議することを確認した。
- (2) 学長が指名する大学院及び各学部から選出された教員として山田一哉教授、尻無浜博幸教授、矢崎久准教授、河野史倫准教授、澤柿教淳准教授、飯塚徹准教授を、研究に関する倫理的及び法的事項を総合的に判断するにふさわしい識見を有する者として福島智子准教授、増尾均教授を、一般の立場を代表する学外者として瀬川格淳氏(専称寺住職)を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3) 下記の3件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。
 - ①「身体活動量は首尾一貫感覚と関連する」 健康栄養学科 長谷川 尋之 専任講師
 - ②「ジュニア競技者を対象に適切な成長と体力向上を目的とする栄養教育プログラムの開発」 健康栄養学科 長谷川 尋之 専任講師
 - ③「保健分野の学習の成果(意識調査)から保健体育科教員の授業実践について考える」 人間健康学部スポーツ健康学科 教職センター 小松 茂美 教授

平成29年11月1日(金) 17:00~17:40

- (1) 下記の6件の申請について審議し、修正後承認、非該当、不承認と判断した。
 - ①「競技現場における鹿肉利用の有効性に関する検討」 健康栄養学科 長谷川 尋之 専任講師
 - ②「学生と災害時要配慮者の備蓄調査と備蓄支援」 健康栄養学科 藤岡 由美子 専任講師
 - ③「介護食の開発と喫食調査」 健康栄養学科 藤岡 由美子 専任講師
 - ④「管理栄養士養成過程におけるモデルコアカリキュラムの到達目標を用いた臨地実習の事前事後評価」 健康栄養学科 藤岡 由美子 専任講師
 - ⑤「Paraphrasing技法の習得がSpeaking能力に及ぼす影響」 学校教育学科 和田 順一 准教授
 - ⑥「論理的文章の書き方指導と学生の文章記述力の変化」 学校教育学科 國府田祐子 准教授

平成29年11月24日(金) 17:00~17:35

- (1) 下記の2件の申請について審議し、継続審議とした。
 - ①「発達障がい児のバランス能力に関する研究(下肢アライメント・土踏まず形成・足趾圧等とバランス能力の関係について)」 学校教育学科 小林 敏枝 教授
 - ②「介護食の開発と喫食調査(再申請)」 健康栄養学科 藤岡 由美子 専任講師
- (2) 承認番号:第75号「ジュニア競技者を対象に適切な成長と体力向上を目的とする栄養教育開発」 健康栄養学科 長谷川尋之 専任講師の被験者数の変更を承認した。
- (3) 研究倫理委員会にて審議する必要がある研究か否かについて研究者個人が判断できる指標として、「倫理審査が必要ない研究」及び「人を対象とする研究に関する倫理委員会の審査を要する研究かどうかを判断するためのチェックシート」を修正後承認した。
- (4) 申請書等の関係書類を現在のRidocの人間健康学部のフォルダから、全学部の教員がアクセスできる研究倫理委員会のフォルダに移動することを承認した。

平成29年12月14日(木) 17:00~17:35

- (1) 下記の2件の申請について審議し、修正後承認および非該当と判断した。
 - ①「発達障がい児のバランス能力に関する研究(下肢アライメント・土踏まず形成・足趾圧等とバランス能力の関係について)」 学校教育学科 小林 敏枝 教授
 - ②「介護食の開発と喫食調査(再申請)」 健康栄養学科 藤岡 由美子 専任講師

平成30年3月2日(金) 17:00~17:10

- (1) 下記の1件の申請について審議し、修正後承認と判断した。

「持久的およびレジスタンストレーニングが一般高齢者とマスターズアスリートの動脈ステイフネスに及ぼす影響」 スポーツ健康学科 山本 薫 准教授

b) 事業・活動

平成29年8月4日(金) 16:50~18:20

- ・研究倫理委員会主催で科研費に関する講習会を開催した。
- 講習会「科研費を必ず獲得できる申請書の作成方法:どのような点に気をつければよいのか?」
- 講師: 久留米大学分子生命科学研究所 児島 将康 教授

1) 動物実験部会

a) 部会開催

平成29年4月7日(金) 17:00~17:20

- (1) 部会では、従来通り動物実験の審査を厳格に行うことを確認した。
- (2) 動物実験等に関して優れた識見を有する者として山田一哉教授・河野史倫准教授・澤柿教淳准教授・川島均准教授を、倫理等の学識経験を有する者として福島智子准教授を、実験動物管理者として羽石歩美助手・塚田晃子助手を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3) 下記の5件の申請について審議し、承認することを確認した。
 - ①「生化学実験(健康栄養学科2年生後期)」
大学院健康科学研究科 山田 一哉 教授
 - ②「インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析」
健康科学研究科 高木 勝広 教授
 - ③「骨格筋機能を決定する生理的要因とそのメカニズム解明」
健康科学研究科 河野 史倫 准教授
 - ④「5/6腎摘除慢性腎不全モデルラットの腎機能と骨代謝に対する長期的運動の効果」
健康科学研究科 江原 孝史 教授
 - ⑤「ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析」
健康科学研究科 山田 一哉 教授
 - ⑥「インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析」
健康科学研究科 高木 勝広 教授

平成30年3月2日(金) 17:10~17:20

- (1) 下記の5件の申請について審議し、承認することを確認した。
 - ①「抗菌物質のアレルギー誘発効果と曝露影響評価」
健康科学研究科 弘田 量二 教授
 - ②「ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析」
健康科学研究科 山田 一哉 教授
 - ③「生化学実験(健康栄養学科2年生後期)」
大学院健康科学研究科 山田 一哉 教授
 - ④「骨格筋機能を決定する生理的要因とそのメカニズム解明」
健康科学研究科 河野 史倫 准教授
 - ⑤「インスリン様活性を有する食品成分のスクリーニングと作用機構の解析」
健康科学研究科 高木 勝広 教授
- (2) 今後マウスを飼育する利用者が増えるが、飼育室は当初ラットを飼育する利用者が多かったため、マウスケージ数が少ない。そこで、ケージの追加購入について審議し承認した。

b) 事業・活動

平成29年5月24日(水)

- ・動物慰霊祭を開催した。

平成29年6月2日(金)

- ・公私立大学実験動物施設協議会総会に河野史倫准教授が参加した。

平成29年7月28日(金)

- ・教職員、院生、学部生を対象に第1回教育訓練を実施した。

平成29年9月26日(火)

- ・健康栄養学科学部生を対象に第2回教育訓練を実施した。

2) 遺伝子組換え実験安全部会

a) 部会開催

平成29年4月7日(金) 17:20~17:25

- (1) 部会では、遺伝子組換え実験が安全に行われるように、遺伝子組換え実験計画および実験施設の審査を厳格に行うこと、および規程等の改訂を行うことを目的とすることを確認した。
- (2) 遺伝子組換え実験等に関して識見を有する者として山田一哉教授、河野史倫准教授、澤柿教淳准教授、川島均准教授を、倫理等の学識経験を有する者として福島智子准教授を、学長から任命された安全主任者として浅野公介助手を委員会構成メンバーとすることを確認した。
- (3) 下記の6件の申請について審議し、承認した。
 - ①「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」
健康科学研究科 山田 一哉 教授
 - ②「新規転写因子ファミリーZHXの生物学的役割の解析」
健康科学研究科 山田 一哉 教授
 - ③「酵母の形質転換」
健康科学研究科 高木 勝広 教授
 - ④「時計遺伝子と長寿遺伝子の発現相関は、糖代謝調節に関わるか?」
人間健康学部 浅野 公介 助手
 - ⑤「筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求」
健康科学研究科 河野 史倫 准教授
 - ⑥「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」
健康科学研究科 高木 勝広 教授

平成30年3月2日(金) 17:20~17:30

- (1) 下記の6件の申請について審議し、承認した。
 - ①「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」
健康科学研究科 山田 一哉 教授
 - ②「新規転写因子ファミリーZHXの生物学的役割の解析」
健康科学研究科 山田 一哉 教授
 - ③「概日リズム調節因子・メラトニンは血糖上昇ホルモンとして肝臓に作用するか?」
人間健康学部 浅野 公介 助手
 - ④「筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求」
健康科学研究科 河野 史倫 准教授
 - ⑤「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」
健康科学研究科 高木 勝広 教授
 - ⑥「酵母の形質転換」
健康科学研究科 高木 勝広 教授

3. 入試広報部門

(1) 入試委員会

入試委員会は、大学院・総合経営学部・人間健康学部・教育学部・松商短期大学の代表および入試広報室の職員から構成されている。平成29年度は大学院代表が委員長を務めた。

入試委員会の業務は、①学生募集に関すること（オープンキャンパス、進学説明会、高校訪問など）、②入学試験に関すること（入試問題の作成と確認、入試の運営など）、および③①②で全学的調整が必要な場合、各学部学科、または全学運営会議・全学協議会との連絡を行うことである。

また、入試委員会の下部組織として、入学試験問題の作成に携わる入試問題検討部会とAO入試の企画・運営に携わるAO運営部会がある。

a) 委員会開催

平成29年5月12日（金）

下記の昨年度全学入試委員会からの申し送り事項を継続審議とすることを確認した。

(1) 募集人員の内訳について

学科定員の変更に伴い、各入試区分の募集人員について確認がなされた。

(2) 入試内容について

①AO入試では、総合経営学部は1次選考に模擬授業と確認テストを追加実施すること、教育学部では個人面談を1次選考に繰り上げ、模擬授業及び確認テストを1回実施とすることが確認された。

②推薦入試は、総合経営学部は、指定校を除く全ての推薦入試において文章理解を実施することの確認がなされた。

③一般入試の科目で、地歴教科において「世界史B」科目を追加することが確認された。

④松商学園高校対応では、受験目的の模擬授業を廃止し、募集人員及び条件を明確にした入試方針を設けることの確認がなされた。

⑤短大部と総合経営学部における併願入試では、一般A入試を学部共通とすることについて、1年間様子を見ることの確認された。ただし、実施については前向きとして、将来的には総合経営学部両学科への編入学が可能となるよう、教務委員会とも連携して検討していくことの確認がなされた。

⑥強化部・重点部の扱いについて、各学科での募集人員の目安を設定することの確認がなされた。また、他の部活は個別対応とし、その場合は各学部長が手動・判断することの確認がなされた。

(3) 入試日程について

以下の進行上の取り決めが確認された。

①出願書類受付は期限必着（消印有効ではない）とする。

②合格発表日当日に学内掲示板に掲出するとともに合格通知を郵送することとする。ホームページはあくまでサービスという位置付けとする。今年度と同様、総合経営学部で不合格通知と編入案内を出すかは状況判断とする。

③入学手続に関して、締切日は入金の日とし、書類の遅延は認める。年内入試の合格者から入学金等の延納が希望された場合、締切日を12/25とする。守られなければ合格を取り消す（短大を除く）。一般A入試・センター利用I期入試の合格発表後の手続き期間が短くなるため、入学手続き書類の中から連帯保証人をなくす。

④補欠合格について、一般A補欠には2/27（一般B入試+2営業日）、一般B補欠には3/20までに連絡しなければならない旨を通知書に明記する。一般入試・センター利用入試の入学手続締切日の翌日から補欠合格者に電話連絡をする。ただし、その当日19:00までに返事がなければ、次の補欠合格者に連絡する。補欠合格者が切れたときに、不合格ラインから新たに補欠合格者は出

さない。

(4) 英語外部試験利用について

本年度利用は見送り次年度以降の利用に備え、学科ごとに利用の必要性、対象入試区分、条件などを検討することとする。

(5) 短期大学部の入試改革について

海外留学を前提とするAO入試についての提案がなされた。概要として、海外留学参加・外部英語試験取得を必要条件とすることで、筆記試験(小論文)を免除し、留学支度金を支援するという制度であることの説明がなされた。

平成29年6月29日(木)

(1) 入試問題について

6月18日(日)に開催された、入試問題検討部会において外部作題者より、記述式問題の導入について提案された。現在、文部科学省ではセンター入試に代わる、大学入学共通テスト(仮称)での記述式問題の導入が検討されており、今後各大学入試においても導入の指導があると予想される。それに先立ち本学としても受験生に影響のない程度での導入したい旨、提案がなされ異議なく承認された。今年度は、一般A入試「国語」の小題1問80文字程度の記述とし、配点は6点程度とする。今年度の結果を踏まえ次年度以降拡大していきたい。

(2) 沖縄県高等学校への募集活動について

5年ほど前から沖縄県への広報活動に注力しており、現在は総合経営学科1名(3年)健康栄養学科1名(3年)スポーツ健康学科2名(4年・1年)松商短大1名(2年)が在籍している。5年経過したので、各学科で今後の方針を検討していくこととした。これまで通り積極的に行うのか、縮小して行うのか、制度のみ残すのか、または全て廃止とするのか、検討していく。

平成29年10月5日(木)

(1) 面接上の注意について

高等学校より、圧迫面接にあたるような事があったのではないかと指摘を受けた。大学側の意図とは違っても、受験生側の受取り方もあるので、AO入試や推薦入試で行う面談及び面接については、細心の注意を払うよう再度確認がされた。

(2) 入試改革について

平成33年度入試より大幅な入試制度の変更がなされる。本学としても順次対応していくこととする。ただし、受験生が敬遠しないような入試への改革を進めていく。2019年度までには大枠を決め、受験生への周知をしっかりと行っていく。もしも、学科でそれまでの入試で変更するなら、そちらを尊重することも確認された。

(3) 次年度大学案内

次年度の大学案内の制作者選定にあたり、費用や負担の軽減、経験や知識の蓄積などの観点から、随意契約による発注を行うことについて、いくつかの根拠書類が提出され、これを審議し、次年度大学案内の制作者が承認された。

(4) 特待生規程について

松商学園高等学校、松本秀峰中等教育学校の入学金免除制度について、卒業後何年までの受験生を対象とするか明確にする必要があるため、全学運営会議に諮ったところ、「期限なし」と確認された。

(5) 次年度年間予定について

次年度年間予定案の説明がなされた。

平成30年11月10日(土)に大学入試センターのプレテストが実施され、本学も実施会場となるため、推薦前期入試の日程を変更せざるを得ない。学部の推薦前期を11月11日(日)とし、短期大学部の推薦前期を翌週の11月17日(土)に実施する方向で進めていく。プレテストの詳細が確定したところで再度協議することとした。

平成30年1月18日(木)

- (1) 高大接続入試改革について
各学科で検討している入試改革案について経過報告がなされた。これらについて、3月までに成案を得ることの確認がなされた。
- (2) 長期履修制度について
最長8年間までを費やす長期履修制度の規程制定について報告がなされ、ホームページで情報公開していくことの確認がなされた。
- (3) 一般入試問題の一部外注について
一般入試問題の一部について外注を検討していくことの承認がなされた。外注する問題については事務局から案を提示することが確認された。

平成30年2月22日(木)

- (1) 高大接続入試改革について
各学科で検討中の入試改革について、現時点までの方針や変更点の確認がなされ、次回の委員会までに最終的な施策をまとめ資料化して提出することが確認された。
- (2) 特待生資格試験について
年内合格者を対象とした資格試験について、大学合格者の試験結果が低迷している。よって、より真摯な資格試験準備を促すとともに、優秀な学生を支援するためにも改革を全学運営会議に提案していくことの確認がなされた。
- (3) 二段階納入方法について
歩留まり予測を困難にする一面はあるものの、受験促進に繋がっている効果も大きいため、次年度においては本年度通りの方法を実施することの確認がなされた。
- (4) 沖縄及び離島出身者奨学金制度について
沖縄出身者奨学金制度について、佐渡を含めた離島出身者も対象とするよう拡張する提案がなされた。進学のために島外に出なければならない条件は共通する環境であること、また実際、佐渡からは少人数ながら継続的な進学実績もあることから、学生確保の可能性の一つとして承認され、全学協議会へ上程することとした。
- (5) 次年度オープンキャンパスについて
資料に沿って本年度実績と、それに基づく次年度計画の説明がなされ、承認された。
予約型の体験講座を廃止しミニ講義を2本立てとすることや、学科独自の取り組みの実施を検討することなどが協議された。
- (6) 松本大学・松商短期大学部ファミリー割引制度
現在の兄弟姉妹入学免除金制度を拡張し、卒業生対象を祖父母にまで広げる制度改革についての説明がなされ、本会での承認を受け全学協議会へ上程することとした。

平成30年3月15日(木)

- (1) 高大接続入試改革について
特に、次年度入試の改革について、議論を重ねてきてほぼ成案に近い案が得られた。

<総合経営学部>

AO入試はⅡ期まで実施し、自己推薦は実施しない方針であったが、日程的に実施が困難なため、自己推薦を試験内容や選考方法を変更し実施する。この件については教授会にて再審議することとした。

【AO】

- ・ 提出書類として「活動報告書」を追加する。
- ・ I期のみの実施とし推薦前期(指定校・公募)と同時に判定できるようにする。
- ・ II期は実施しない。

【自己推薦】

- ・ 提出書類として「活動報告書」を追加する。

【指定校推薦】

- ・公募推薦と同様に、文章理解を導入する。

<健康栄養学科>

基本方針は本年度と同様とする。

【AO】

- ・AO説明会で、過去5年分の模擬授業と課題についての説明を行う。それに伴い、今後は過去実績を資料として蓄積し活用できるようにする（模擬授業パワーポイントの保存、課題のリスト化）。
- ・面接の質問項目は課題審査内容とは切り離し、アドミッションポリシーを始めとする学科理解の深度を確かめる内容とする。

<スポーツ健康学科>

【AO】

- ・「一般選抜方式」と「運動選抜方式」の2方式で実施する。一般選抜方式は従来通りの選考方法で行い、運動選抜方式は「運動能力テスト」と「プレゼン面接」、「書類審査」にて選考する。なお、この運動選抜方式は強化部・重点部入部希望者の試験ではない。

【指定競技特別】

- ・強化部、重点部、強化指定選手獲得のため、新しい入試として実施する。
- ・選考方法は「書類審査」「小論文」「プレゼン面接」とする。
- ・I期を推薦前期と同時期、II期を年明け（1月or2月）の実施とする。
- ・各強化部、重点部と連携をとりながら詳細を詰めていくこととする。

<教育学部>

基本方針は本年度同様とするが、より受験されやすい入試にしていく改革方針の確認がなされた。

【AO】

- ・集団面接を廃止する。
- ・エントリーシートの記載内容の変更を行う。
- ・「学修計画書」及び「活動報告書」を提出書類に追加する。

<松商短期大学部>

【AO】

- ・エントリーシートの記載内容の変更を行う。
- ・年明けの受験機会増を目的とし、Ⅲ期、Ⅳ期を実施する。Ⅲ期、Ⅳ期についてのAO入試説明会は年明けの入試相談会等で実施する。また、Ⅲ期、Ⅳ期については選考方法も簡略化し、エントリー方式を廃止、出願時にエントリーシートに代わり、「プランニングシート」を提出、書類審査、小論文、60分の面談により選考する。

【推薦】

- ・筆記試験導入は見送り、他大学の動向を確認し検討していく。

【一般】

- ・ABCともに面接試験を追加する。一般Aでは地方入試にも対応していく。
- ・面接を導入することにより、学部一般A両日受験者及び1日目受験者の併願は出来なくなるが、別日での受験を勧めるなどして対応する。

<全体>

入試委員長より入試改革に向け、以下の点について述べられ、確認がなされた。

- ・現在検討中ではあるが、人間健康学部については指定校枠数について、基準値を超えている学生であれば枠数にとらわれずに確保する為、人数を明記するのではなく、複数名と表記する形にしたいと考えている。
- ・入学者定員の1.15倍問題もあるが、5月1日時点での収容定員における定員充足率にも注意し、定員割れがないようにする。
- ・2018年度問題もあるため、受験生に対して広く受験をしてもらい、その中からしっかりと選抜できるように、各学部学科で試験内容等、今後も検討していく。

- ・次回入試委員会(4月開催予定)までには各学科の試験内容を確定し、6月に募集要項を公表することとする。
- (2) オープンキャンパスの入試委員引き継ぎについて
資料に基づき次年度のミニ講義や学科説明の担当決定を4月13日(金)までに学科ごとまとめることが確認された。
- (3) その他
松本大学・松商短大ファミリー割引制度について、どこまでの範囲(別生計でもよいか、祖父母、両親の場合の生死はどうするかなど)を対象とするか。規程を早急に作成していく。

b) 事業・活動

- (1) オープンキャンパスの実施
高校生を対象にしたオープンキャンパスを実施し、大学ならびに各学部学科の魅力をアピールするとともに、様々な相談に対応して受験者の獲得に努めた。なお、日程ならびに動員数等の詳細については、入試広報室の項を参照されたい。
- (2) 授業公開の実施
前後期にそれぞれ1回ずつ、高校生と保護者が通常講義を見学できる授業公開日を設定した。なお、日時や動員数等の詳細については、入試広報室の項を参照されたい。
- (3) 学外での出前講義・模擬面接の実施
学外、多くは高等学校内で実施される出前講義ならびに模擬面接に参加した。なお、具体的な日時や回数及び動員数等については、Ⅲ-1-⑤高等学校での出前講義および入試広報室の項を参照されたい。
- (4) 学外でのガイダンスの実施
学外で実施された大学・学部・学科の説明会に参加した。なお、具体的な日時や回数及び動員数等については、入試広報室の項を参照されたい。

1) 入試問題検討部会

a) 部会開催

平成29年6月18日(日)

- (1) 学長より挨拶。昨年度入試の結果及び、今年度の本学を取り巻く環境について説明がなされた。
- (2) 学内教科担当者及び、外部作題担当者が自己紹介を行った。
- (3) 今年度の入試スケジュール及び、作題スケジュールが確認された。例年との変更点は、初稿を書式落とし込み後、再度入試問題検討部会を開催し、内容のすり合わせを行うことで、よりミスが少ない問題作成を目指すことである。
- (4) 外部作題者より、文部科学省が推奨している記述式問題について、導入の提案がなされた。
- (5) 科目別の担当者に分かれ、アドミッションポリシー、出題範囲、難易度、構成などについて、詳細に打合せがなされた。

平成29年11月4日(土)

- (1) 学長より挨拶。現在の入試動向及び作題にあたっての注意がなされた。
- (2) 全学入試委員長より挨拶。
- (3) 各教科、初稿原稿をもとに学内担当者及び作題担当者による試験内容の確認及び修正が話し合われた。

b) 事業・活動

i) 作題案の確認と修正

大学教員との打合せを受けて、作題者が作問した。その後、各担当教員との間で、その内容

に関する意見交換等を電話、E-mail、手紙等で行い、必要に応じて修正、各担当教員の下承を得た上で最終作題案が決定された。

ii) 最終作題案のチェック

最終作題案に対し、担当教員や複数の事務職員による確認作業を行った。いくつかの修正を経た上で試験問題の作成が完了した。

2) AO運営部会

a) 部会開催

平成29年7月7日(金) 第4会議室

- 1) 入試委員長より、この運営部会新設の経緯と目的について説明がなされた。
- 2) 学生募集要項に基づき、各学部学科のアドミッションポリシーが確認された。
- 3) 学生募集要項に基づき、各学部学科のAO入試内容について確認された。
- 4) 文部科学省からも今後AO入試や推薦入試でも学力担保が出来るような入試にするようにと通達が来ているため、各学部学科で入試内容について検討していくこととした。

b) 事業・活動

- 1) 各学部学科でアドミッションポリシーに沿ったAO入試が行われた。
- 2) 次年度に向けて、各学部学科のAO入試の内容をより良いものにするために検討することとした。

(2) 全学広報委員会

広報委員会は、主に年4回の学報「蒼穹」の編集・発行、ならびに日常的な大学ホームページの更新・充実を行うため、その内容を決定した。教員の委員は、全学入試委員と同じである。

a) 委員会開催

平成29年5月12日(金) 第3会議室

- ①「蒼穹vol.127」についてページ構成案の確認がなされた。「教育学部開設人間健康学部開設10年～松本大学 さらなる飛躍へ～」を特集とした。
- ②あづみのFMについて
あづみのFMでも本学の番組を担当するにあたり、予め学科で担当教員の順番をリスト化しておき、順に担当していくことが確認された。

平成29年7月31日(月) 第3会議室

「蒼穹vol.128」についてページ構成案の確認がなされた。「いよいよ本腰を入れる防災教育」を特集とした。

平成29年11月2日(木) メール審議

「蒼穹vol.129」についてページ構成案の確認がなされた。「内定状況にみる就職支援の成果」「勢いを増す本学のグローバル化」を特集とした。

平成30年1月18日(木)

「蒼穹vol.130」についてページ構成案の確認がなされた。「いよいよ本腰を入れる防災教育」を特集とした。

平成30年3月15日(木)

「蒼穹vol.131」についてページ構成案の確認がなされた。
3月20日以降に、HPのリニューアルがなされることが報告された。

(3) 高大連携推進委員会

a) 委員会の運営

高大連携推進委員会は、総合経営、人間健康、教育、松商短大の4学部から8名の教員が委員となり、管

理課に事務局を置き運営している。高大連携の取り組みは学部・学科毎に目的や方法が異なることや意思決定の迅速化の観点から、各事業は各学部・学科において委員を中心に主体的に取り組むことを前提として、事前事後において委員会全体としての情報の共有化を図っている。平成29年6月7日開催の第1回高大連携推進委員会では当年度の予定連携事業として、総合経営学部は県内商業高校を中心としたデパートサミット事業と飯田OIDE長姫高校との地域人教育事業、人間健康学部スポーツ健康学科は岡谷東高校との連携事業、松商短大は穂高商業高校との連携事業への取り組みが報告された。いずれも昨年度からの継続事業である。また、新設の教育学部については今後の連携事業への有意義な取り組みが要請された。なお、委員会全体としての活動は、昨年度と同様に、主として情報交換を主としたメール会議を適宜開催し、必要な場合には学部を超えた相互支援を行う体制をとることとした。

b) 活動内容

1) 総合経営学部

①デパートサミット（マーケティング塾・デパートゆにっと）

長野県商業教育研究会が主催するデパートサミットは、県内の商業高校や農業高校が連携して学ぶ人材育成を目的とした新しい形での高大連携教育である。その内容は、商品開発などを学ぶ「マーケティング塾」と、その成果を発表する年1回の合同販売会「デパートゆにっと」によって構成されており、本学が共催して2013年4月から実施されている。今年度のマーケティング塾は、昨年度12月に始まった第5期の事業と、今年度12月に始まった第6期事業の一部として以下の通り実施された。

- 第5期:** 第4回マーケティング塾 2017年4月22日(土) 松本大学
 ・消費者行動とデザイン ・経営戦略「リーダーとしての行動」
- 第5回マーケティング塾 2017年5月27日(土) 松本大学
 ・広報活動と表現 ・経営戦略「企画力、行動力」 松本大学
- 第6回マーケティング塾 2017年6月10日(土) 松本大学
 ・販売マナー講習
- 第7回マーケティング塾 2017年7月17日(月) 松本大学
 ・開発商品の販売方法とプレゼンテーション
- 第8回マーケティング塾 2017年8月12日(土) 松本大学
 ・販売実践の進めかた
- 第9回マーケティング塾 2017年10月8日(日) 松本大学
 ・マーケティング塾とデパートゆにっとの総括
- 第6期:** 第1回マーケティング塾 2017年12月23日(土) 松本大学
 ・デパートサミットの理解と目標 ・第5期の活動報告
- 第2回マーケティング塾 2018年2月12日(月) 松本大学
 ・地域資源を活かした商品とブランドづくり ・リーダとして必要なもの
- 第3回マーケティング塾 2018年3月24日(土) 松本大学
 ・ニーズを見つけたブランドデザイン ・ブランドの開発

マーケティング塾の成果の発表の場として行われる「デパートゆにっと」は、本年度で第5回を迎えた。マーケティング塾に参加している学校も含め、毎年全国から先進的な取り組みを行う商業高校も参加し、「全国高校生合同販売 デパートゆにっと」という名称で、このイベントは位置づけられている。昨年までの過去4回は、長野市の「ながの東急百貨店」で行われていたが、今年度は県内への認知度を高めるため会場を松本市に移し、「井上百貨店本店」で8月18日から8月20日まで開催された。県内12校と県外3校、松本大学支援会「ゆにまる」の学生が参加し、本年は特に松本市制110周年の記念イベントとして位置づけ、写真展も同時に催すなど、地域との繋がりをより深く持った販売会となった。

デパートサミットの取り組みを踏まえ、「デパートゆにっと」アンテナショップとしての「バレンターン・スイーツ」は、松本大学が主催し、長野県商業教育研究会と井上百貨店が共催することで行われている。この販売会は、夏のイベント「デパートゆにっと」に対して冬のイベント「バレンターン・スイーツ」と

して定着し、バレンタインを意識してよりターゲットを絞った販売会となっている。今年度の販売会は2月11日・12日に、松本大学の矢内ゼミ・向井ゼミ・金子ゼミと「ゆにまる」、南安曇農業高校・松商学園高校・辰野高校・飯田OIDE長姫高校・長野商業高校・丸子修学館高校・穂高商業高校・諏訪実業高校の8校の高校生が参加し、(株)井上百貨店のアイシティ21の1階イベント広場で開催した。またこれに先立ち、2月4日には同会場にて商品発表会を行った。この取り組みは「デパートゆにっと」で行われているアンテナショップでは最も規模が大きく、デパートサミットに参加していない高校生の参加も可能とするなど、より多くの高校生の学びの機会を提供することができた。

デパートサミット事業は、商品開発をはじめとしたビジネス活動を通して地域人材の育成に貢献してきている。しかしビジネス活動の学びの範疇は広く、当事業の参加生徒は、商業高校に限らず農業高校にも広がっている。そこで高大連携教育に活かすためには、ものづくりから消費までのビジネス活動の動きを俯瞰できる新たな教材の開発が必要であると考えて今年度は以下の通りその導入を試みた。

第1回マネジメント・ゲーム研修会 2017年7月16日(日) 松本大学

参加者／ 高校教員8名、一般企業3名、松本大学学生5名

第2回マネジメント・ゲーム研修会 2017年11月25日(土) 松本大学

参加者／ 高校教員6名、松本大学学生4名

第3回 南安曇農業高校 生徒実習 2018年1月18日(木) 松本大学

題名：「マネジメント・ゲームによるビジネス感性トレーニング」(公開授業)

参加者／ 南安曇農業高校生物工学科 動物バイテクノロジーコース 生徒9名
松本大学アシスタント学生2名

②地域人教育

飯田OIDE長姫高校との高大連携事業は今年度、2017年6月15日に1年生80名による松本のフィールドワークと、「まちづくり学習会」の一つである「コミュニティカフェ上土日和」の第1回イベントとして7月2日に上土・下町会館およびふれあいホールにおいて、水引作り体験・展示、上土看板しりとり、竹細工による水鉄砲作り、七夕飾りへの短冊の取り付けを行った。

③白馬高校との連携

白馬高校は、昨年度より国際観光科を新設し、高校として県内唯一のコミュニティ・スクールとしての人材育成を目指しており、本学教員も学校運営協議会にかかわり学校づくりの支援を行っている。今年度は、6月14日に同校74名が松本でフィールドワークを行った。

2) 人間健康学部

①健康栄養学科の取組

今年度の健康栄養学科の高大連携事業は、以下のとおり、「高等学校の部活動に所属する生徒を対象とした体格改善を目的とする栄養サポート」に取り組んだ。

- ・岐阜県立中津高等学校水泳部及びサッカー部の栄養サポート

開催日時／2017年8月5日、8月29日、10月21日、12月9日

2018年2月3日、3月31日、5月21日

参加人数／本学学生4名、生徒：水泳部5名、サッカー部30名

- ・松商学園高等学校高校サッカー部の栄養サポート

開催日時／2018年1月15日、2月5日、3月12日、4月16日、5月7日、6月11日

参加人数／本学学生4名、生徒60名(2018年度から100名)

- ・長野県立蘇南高等学校バドミントン部の栄養サポート

開催日時／2017年9月30日、11月4日、12月23日

2018年2月17日、3月27日、4月21日、6月9日

参加人数／本学学生2名、生徒7名(2018年度から9名)

②スポーツ健康学科の取組

平成19年度に岡谷東高校との連携についての話し合いが行われ、平成20年6月には試行的に、高

校生が大学の講義を受講し、同年12月に正式に人間健康学部スポーツ健康学科と岡谷東高校との連携協定を締結し、本格的な連携事業がスタートした。試行的な活動も含めれば、今年度は9年目の活動となった。具体的には、以下のとおり、高校1年生および2年生が本学に来学し、模擬講義の受講およびキャンパスライフ体験を通じて、大学での「学び」、「生活」について理解すると同時に、運動やスポーツに関する専門的内容に触れることを狙いとした。

- ・ 第1回：6月19日 1年生対象 岩間「運動学」、齊藤「スポーツ心理学」、中島節「養護教育」
- ・ 第2回：7月18日 2年生対象 山本「トレーニング科学」、田邊「健康運動指導」、犬飼「レクリエーション支援実習」
- ・ 第3回：9月12日 1年生対象 等々力「現代スポーツ論」、根本「健康運動指導」、江原「生活習慣病とその予防」
- ・ 第4回：9月12日 2年生対象 中島弘「レクリエーション学」、新井「スポーツ行政」、河野「宇宙生理学」

3) 松商短期大学部

①大学授業チャレンジ型連携

高校の夏休み、春休みを利用して、本学教員の教育資源を活用した大学の経済・ビジネス系等の専門科目の受講および学食利用、教室移動等の具体的なキャンパスライフの疑似体験を通して、高校生の勉学意欲および進学意欲の高揚を図ることを狙いとした連携である。

今年度は穂高商業高校(2年生93名)との連携事業となった。

- 7月26日 金子「マーケティング①」、山添「経営分析①」、香取「会計学入門①」、飯塚「経営学の基礎①」
- 27日 廣瀬「UD入門①」、香取「会計学入門②」、藤波「金融論入門」、中山「心理学入門①」
- 28日 金子「マーケティング②」、山添「経営分析②」、糸井「キャリアクリエイト」
- 3月19日 金子「マーケティング③」、小澤「ブライダル入門」、香取「会計学入門③」、廣瀬「UD入門②」
- 22日 中山「心理学入門②」、浜崎「医療事務入門」、藤波「銀行論入門」、金子「松商短大の学び」

②高校授業グレードアップ型連携

穂高商業高校においてすでに日商2級レベルに達している3年生を対象として、本学教員(香取・山添)が同校に週1回出向いて日商1級レベルの「会計学」「原価計算」の講義を行う取り組みであり、高いレベルの学習への意欲促進を狙った連携である。今年度は4月17日から1月22日の間で、毎月曜日10:20~12:10に全24回実施、参加生徒数は3年生16名であった。

(4) センター入試委員会

センター入試委員会は、本学キャンパスを平成30年度大学入試センター試験の試験会場として運営するための準備と運営、大学入試センターや他試験場との調整を主な業務として活動した。当年度は教員8名、職員5名の委員構成となった。

今年度は試験室数が増え過去最高の受験者数となったが、当日は追試験申込者や別室試験者は発生することなく無事業務を遂行することができた。

a) 会議

- ①第1回平成30年度大学入試センター試験長野県地区連絡会議
平成29年7月6日(木) 遠隔会議システムにて
平成30年度センター試験について
本学はシステム不良により参加できず
各試験会場の受験者数について後日会議を開催することが決定
- ②第1回センター入試委員会

- 平成29年7月18日(火)
7月21日開催の中信地区受験者数調整会議(松本大学、信州大学、松本歯科大学)に向けた
本学の方針について協議
平成30年度センター試験業務スケジュールの確認
イヤホン不適合措置申請への対応方法
- ③平成30年度大学入試センター試験長野県地区連絡会議(中信地域担当学会議)
平成29年7月21日(金)本学大会議室にて
参加大学:信州大学(3名)、松本歯科大学(2名)、松本大学(5名)
信州大学から松本大学および松本歯科大学に対し受入受験者数増の要請があり開催
本学への要望800席(昨年度実績520席)に対し協議の結果657席で決着
本学試験会場では9試験室設けて実施することで決定
- ④第1回大学入試センター試験入試担当者連絡協議会
平成29年8月21日(月)メルパルク東京
大学入試センターより平成30年度試験実施内容の解説
- ⑤第2回センター入試委員会
平成29年11月21日(火)
学外参加会議の報告と当年度試験の変更点の確認
本学試験会場の試験室、控室、救護室の確認
監督者等の配置基準の確認
監督者会議およびリスニング予行演習に向けた各委員の役割分担
監督者会議およびリスニング予行演習の進行と説明内容の確認
- ⑥第1回監督者会議
平成29年11月29日(水)
監督者に向けた業務内容の概説
- ⑦第2回大学入試センター試験入試担当者連絡協議会
平成29年12月4日(月)メルパルク東京
大学入試センターより試験当日の留意点、問題訂正等の解説
文部科学省より新大学入試制度に関する進捗状況報告
- ⑧第1回リスニング試験予行演習
平成29年12月6日(水)
リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験実施方法の解説
- ⑨第2回リスニング試験予行演習
平成29年12月21日(木)
リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験の事故対応解説
- ⑩試験問題の受取・仕分作業
平成30年1月6日(土)
問題冊子と解答用紙の仕分けと保管
- ⑪第2回監督者会議
平成30年1月12日(金)
監督者に向けた業務内容の詳説
- ⑫試験会場設営準備作業
平成30年1月12日(金)
各試験室の設営と検査
- ⑬センター入試業務の実施
平成30年1月13日(土)・14日(日)
試験業務の実施

解答用紙のチェックと保管

⑭答案用紙等の引渡

平成30年1月15日(月)

運送業者への答案用紙等の引き渡し作業

4. 管理部門

(1) 全学協議会

学長、副学長、研究科長、各学部長・学科長並びに事務局長および総務課長、学生センター長を構成委員とする全学協議会は、最高意志決定権者である学長の下に置かれ、学部横断的課題・事項に関する審議・決定と、報告事項の適切かつ適確な周知による各種情報の全学的共有化を主要な任務としている。

今（平成29）年度もまた、上記の主旨を踏まえ、事前に開催された全学運営会議において確認、整理された審議事項について慎重に審議し決定することを中心に、報告事項についても全学的に周知を図るべく努めた。

以下、「(a) 委員会開催」として、年間を通じた各回の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を、さらに「(b) 事業・活動」として、(1) 学部横断的人事に関する審議と決定、(2) 学則および各種規程の審議・承認と理事会への上程、(3) 入試に関連する諸事項の検討・決定、(4) 各種申請の調整・支援と遂行、(5) 各種連携協定の審議・承認と締結、(6) その他、の5点にまとめ今年度の活動状況を概述する。

(a) 委員会開催

第1回 平成29年4月26日（水）17:35～19:20 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 平成30（2018）年度入学試験について審議、一部継続の上、承認
- (2) 株式会社コスモとの協定締結について審議、承認
- (3) 地域づくり考房『ゆめ』の補充人事について審議、履歴書回覧の上、承認
- (4) 女子ソフトボール指導者人事について審議、履歴書回覧の上、承認
- (5) 研究推進委員会提案事項について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 台湾義守大学及び麻績村との連携協定について
- (2) FD・SD講演会および研修会について
- (3) 平成29年度科研費の採択状況について
- (4) 連携事業等を実施、公表する際の扱いについて 他

第2回 平成29年5月31日（水）17:15～18:55 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) 短期大学の新たな入試制度（松本大学松商短期大学部留学支援型AO入学試験合格者の奨学金支給規程と学業支援）について審議、承認、理事会へ上程
- (2) 研究活動における不正行為への対応に関する規程の一部改正について審議、承認、理事会へ上程
- (3) 義守大学への短期留学プログラムについて審議、承認
- (4) 私立大学研究ブランディング事業への申請について、以下の内容を中心に審議、承認
 - 1) 全学的な優先課題として全事業期間にわたる予算配分
 - 2) 研究活動、ブランディング戦略、事業全体におけるPDCAサイクルの整備
 - 3) 将来ビジョンの設定、位置付け、周知
 - 4) 事業を通じて浸透させたい自大学のイメージ整理
- (5) IRテーマ募集について審議、承認
- (6) あづみ野FMの番組担当について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 再課程認定への対応の進捗状況について
- (2) 「信州創業応援プラットホーム」への参加協力と人選について：

(3) 協定に基づく義守大学への交換留学について

(4) クラブ等のバス利用について 他

第3回 平成29年6月28日(水) 17:35~18:40 欠席なし

〔審議事項〕

(1) British Hills訪問(国内英語留学体験)について審議、承認

(2) 「教員育成フォーラム in 松本」について審議、承認

(3) 今年度の特別補助金の獲得(特にタイプ3)と松本短大との職員交流について審議、承認

〔報告事項〕

(1) 文部科学省への「教職課程(中・高英語)」、「収容定員変更」の申請状況について

(2) 文部科学省「大学の設置等の認可の申請および届出に係る手続等に関する規則」の一部を改正する省令について

(3) 文部科学省「研究ブランディング事業」への申請について

(4) APフォーラム(7月29日(土)開催)について 他

第4回 平成29年7月26日(水) 17:00~18:50 欠席なし

〔審議事項〕

(1) IRに係る学生の個人情報の取扱と活用について審議、再提案

(2) 「松本大学国際交流事業に伴う危機管理対応に関する内規」について審議、承認

(3) 日本基礎教育学会松本大学支部設立の申出について

(4) 平成29年度大学ポートレートについて審議、承認

〔報告事項〕

(1) 理事・大学連絡協議会および理事会報告

(2) 収容定員変更申請の認可について

(3) 厚生労働省への管理栄養士養成課程の定員変更申請について

(4) 中高英語教員免許課程の申請と学則変更について 他

第5回 平成29年9月27日(水) 17:00~19:15 欠席2名

〔審議事項〕

(1) 大真大学(韓国)との交流について審議、承認

(2) 私立大学等改革総合支援事業調査票の回答について審議、承認

(3) 受験料二重払いの返金について審議、承認

(4) 履修及び進級に関する①松本大学履修規程、②松本大学松商短期大学部履修規程、③松本大学総合経営学部進級に関する規程、④松本大学人間健康学部進級に関する規程、⑤松本大学教育学部進級に関する規程の各案について、一部文言修正を内容とする改定・改正について審議、承認

(5) 学生の裁判員候補者への選任の際の出欠席の扱いについて審議、承認

〔報告事項〕

(1) 英語教員免許課程設置申請の現状と今後の課題について

(2) 大学設置基準の一部を改正する省令の公布(FD、SDの定義に関連して)について

(3) 再課程認定に関する文部科学省の説明と今後の対応について 他

第6回 平成29年10月25日(水) 17:15~19:20 欠席なし

〔審議事項〕

(1) 第2期中期目標・計画(2018.4~2023.3)の策定について審議、了承

(2) 学校法人組織管理規程における大学組織図について継続審議

(3) 教職センター嘱託専任教員の採用について審議、履歴書回覧の上、承認

- (4) 学校法人松商学園組織管理規程の「職員」に「専門員」を設けることについて審議、承認
 - (5) 海外短期留学生対応「ウィンター・プログラム」の単位認定について審議、承認
 - (6) English Café (仮称) の開設について審議、承認
- 〔報告事項〕

- (1) 外部評価委員会 (10月25日 (水) 開催) について
- (2) 松商学園高等学校卒業生の入学金免除について
- (3) 高等教育評価機構からの評価委員の推薦依頼について 他

第7回 平成29年11月22日 (水) 17:40~19:05 欠席1名

〔審議事項〕

- (1) 松本大学大学院特別研究員の称号付与に関する規程 (案) について審議、承認の上、理事会へ上程
- (2) 平成29年度私立大学研究ブランディング事業選定に伴う実施体制について審議、承認
- (3) 教育職員の専門型裁量労働制の適用について審議、承認
- (4) 組織管理規程における大学組織図について審議、承認
- (5) 平成29年度委員会構成の一部変更について審議、承認
- (6) 英語 e-ラーニングシステムの導入について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 理事・大学連絡協議会 (11/17開催) について
- (2) 学友会役員の義守大学との交流活動について
- (3) 第三駐車場造成工事について 他

第8回 平成29年12月25日 (月) 13:30~15:20 欠席4名

〔審議事項〕

- (1) ①松本大学長期履修学生規程、②松本大学学業成績優秀者表彰規程、③松本大学松商短期大学部長期履修学生規程、④松本大学松商短期大学部学業成績上位者表彰規程の制定並びに一部改定について審議、承認の上、理事会に上程
- (2) 松本大学および松本大学松商短期大学部の学則変更について審議、承認の上、理事会に上程
- (3) 松本大学における専門員に関する規程 (案) について審議、一部修正して承認の上、理事会に上程
- (4) 基礎教育センターの採用人事について審議、履歴書回覧の上、承認
- (5) 教職センターの採用人事について審議、履歴書回覧の上、承認
- (6) 陸上部コーチの採用人事について審議、履歴書回覧の上、承認
- (7) 信州プレイングウォリアーズとの連携協定締結について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 松商学園創立120周年 松本大学・松本大学松商短期大学部創立記念講演会について
- (2) 次期硬式野球部監督就任について
- (3) 教育学部中高英語教諭一種免許課程認定およびAC教員審査の結果について
- (4) 第65回「日本宇宙航空環境医学会」(2019年11月) の開催要請について
- (5) ストレスチェックの実施結果について 他

第9回 平成30年1月31日 (水) 17:00~18:40 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) 地域健康支援ステーションの採用人事について審議、履歴書回覧の上、承認
- (2) 各種委員会の統合と効率化について審議、承認
- (3) 平成30年度の教職センター事務室並びに研究室の配置について審議、了承
- (4) 平成30年度「公務員試験対策総合講座」の実施について審議、承認
- (5) 松商学園ファミリー割引制度の導入について審議、継続

- (6) 専門員の授業支援に関わって以下の3点について審議、承認
- ① 科目担当者および、学部・学科からの要請であること
 - ② 授業支援は授業時間数の3分の1未満とすること（単位認定権はない）
 - ③ 授業支援を依頼した主担当者は、原則、講義時間に同席すること

〔報告事項〕

- (1) 入試志願者状況および入試改革の状況について
- (2) 職員の採用状況について
- (3) 「2017年度学習行動調査」結果について
- (4) 次期総合経営学部・短期大学部の各学部長・学科長について 他

第10回 平成30年2月28日（水）17:00～18:30 欠席なし

〔審議事項〕

- (1) 第2次中期計画案について審議、継続
- (2) 平成30（2018）年度事業計画案について審議、継続
- (3) 平成30（2018）年度各委員会構成について審議、一部保留の上、承認
- (4) 松本大学国際化ビジョン案（タイプ4対応）について審議、以下の数値目標を記載することを確認した上で承認
 - ① 短期大学部は、i) 在学中の海外留学・海外体験者延べ数を収容定員の5%程度とする。ii) TOEICスコア400点以上の学生を収容定員の10%程度とする。
 - ② 大学は、i) 前者を収容定員の3%程度とする。ii) TOEICスコア450点以上を収容定員の8%程度とする。
- (5) 平成30（2018）年度入試改革の進捗状況および、下記2点の新提案について審議、承認の上、理事会に上程
 - ① 沖縄県および離島出身者特別奨学金制度を設ける。
 - ② 推薦入試およびAO入試合格者対象の特待生資格試験受験料を5,000円から10,000円に値上げする。
- (6) 研究ブランディング事業担当職員の採用並びに、「一般社団法人 松商サポート」への一部事業委託について審議、承認
- (7) IRのテーマについて（受験生の状況・動向分析）について審議、承認

〔報告事項〕

- (1) 「私立大学等改革総合支援事業」の選定結果について
学部：採択 タイプ1、タイプ2 短期大学部：採択 タイプ1
- (2) 各種講演会などの開催について
- (3) 研究ブランディング事業推進室（仮称）の設置について 他

第11回 平成30年3月28日（水）15:00～16:30 欠席2名

〔審議事項〕

- (1) 「第2次中期目標・計画（最終案）」について審議、承認
- (2) 「平成30（2019）年度事業計画（最終案）」について審議、承認
- (3) 「平成30（2019）年度 委員会構成（案）」について審議、承認
上記（1）から（3）については、4月2日に開催される合同教授会において周知を図ることとした。
- (4) 学校法人松商学園上野奨学基金運営細則、赤羽奨学基金運用規程、学校法人松商学園上野奨学基金及び赤羽奨学基金の推薦に関する内規の一部改定について審議、承認
なお、「学校法人松商学園上野奨学基金運営細則」については、「松商高校との分けをした方がよい」「新規規程を作るべきではないか」といった、本協議会で出された意見を付して法人事務局に提出（案）することとした。

(5) 松本大学科目等履修生規程の一部改訂について審議、承認
〔報告事項〕

- (1) 今年度の入試結果と問題点などについて
- (2) ブランディング事業の進捗状況について
- (3) 平成30(2018)年度私立大学等改革総合支援事業について
- (4) 9号館工事日程について 他

(b) 事業・活動

- (1) 学部横断的人事に関する審議と決定
 - ・地域づくり考房『ゆめ』の補充人事
 - ・女子ソフトボール部指導者人事
 - ・教職センター嘱託専任教員の採用人事
 - ・陸上部指導者人事
 - ・地域健康支援ステーションの採用人事
- (2) 学則および各種規程の改正・改定・変更の審議・承認と理事会への上程
 - ・研究活動における不正行為への対応に関する規程の一部改正
 - ・松本大学国際交流事業に伴う危機管理対応に関する内規
 - ・松本大学履修規程の一部改定
 - ・松本大学松商短期大学部履修規程の一部改定
 - ・松本大学総合経営学部進級に関する規程の一部改正
 - ・松本大学人間健康学部進級に関する規程の一部改正
 - ・松本大学教育学部進級に関する規程
 - ・学校法人松商学園組織管理規程の一部改正
 - ・松本大学における専門員に関する規程
 - ・松本大学大学院特別研究員の称号付与に関する規程
 - ・松本大学長期履修学生規程
 - ・松本大学学業成績優秀者表彰規程
 - ・松本大学松商短期大学部長期履修学生規程
 - ・松本大学松商短期大学部学業成績上位者表彰規程
 - ・松本大学および松本大学松商短期大学部の学則変更
 - ・松商学園法人上野奨学基金運営細則の一部改定
 - ・赤羽奨学基金運用規程の一部改定
 - ・松本大学上野奨学基金及び赤羽奨学基金の推薦に関する内規の一部改定
 - ・松本大学科目等履修生規程の一部改定
- (3) 入試に関連する諸事項の検討・決定
 - ・受験料二重払いの返金
 - ・松商学園高等学校卒業生の入学金免除
 - ・松商学園ファミリー割引制度の導入
 - ・沖縄県および離島出身者特別奨学金制度の導入
 - ・推薦入試およびAO入試合格者対象の特待生資格試験受験料の値上げ
- (4) 各種申請の調整・支援と遂行
 - ・教育学部・英語教員免許課程設置に関する申請
 - ・総合経営学科・健康栄養学科・スポーツ健康学科の収容定員変更の申請
 - ・教職課程の再課程認定申請
 - ・健康栄養学科の管理栄養士養成課程の定員変更の申請(厚生労働省)
 - ・私立大学研究ブランディング事業の申請

- (5) 各種連携協定の審議・承認と締結
株式会社コスモ、義守大学、麻績村、他
- (6) その他
 - ・私立大学等改革総合支援事業への対応
 - ・第2次中期目標・計画の策定、審議・承認
 - ・平成30(2018)年度事業計画の策定、審議・承認
 - ・平成30(2018)年度各委員会委員の選定と決定 他

(2) 衛生委員会

平成29年度においては、主として次のような取組を行った。

① 委員会の開催

平成29年8月2日、9月6日、10月4日、11月1日、11月27日、12月6日、平成30年2月9日

② ストレスチェックの実施

実施者：松本大学 産業医・保健師

実施期間：平成29年10月2日～10月16日

対象者：191名

受検者：185名（受検率 96.9%）

実施の結果、高ストレスと判定された教職員について、保健師面談・産業面談勧奨等のフォローを実施した。

前年度の実施の経過において、特別な問題が生じていないこと、時系列的に結果を解析する必要があること等から同様式により実施した。結果については、学長、事務局長を通じて各部署の責任者へフィードバックし、組織的に現状を把握することに努めた。

③ 教職員の労働環境の改善

- ・専任教員の就労時間の把握と管理について

職員の健康管理面における必要性を踏まえ、タイムカード制（磁気カードを活用）による個人の学内滞在時間の把握を進めた。超過勤務については、所定の様式による所属長への事前申告制を継続していくこととした。

④ 教職員の健康管理

a) 健康診断

平成29年5月31日 教職員定期健康診断(松本大学)66名

個別受診対応(松本市医師会医療センター、他)6名

平成29年6月7日 教職員胃検診(松本大学) 18名

平成29年4月～ 教職員人間ドック(各健診機関) 88名

平成29年6月 教職員定期健康診断・胃検診 保健指導 72名

b) 学校感染症抗体検査

平成29年4月4日、6日、7日、8日 3名

c) 保健師対応

平成29年4月1日～平成30年3月31日 実人数37名／延べ人数64名

急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談、学生対応に関する相談など

d) カウンセラー対応

平成29年4月1日～平成30年3月31日 実人数3名／延べ人数5名

e) インフルエンザ予防接種について

学内で接種を受ける教職員に対し、1,500円(50%)の補助することとした。11月29日(水)と12月2日(土)の二日間で、教職員および強化部寮生に対するインフルエンザ予防接種を予定していたが、製薬会社のワクチンが国立感染症研究所の検定を通らなかったため、入荷に不足が生じた。接種の優先順位を次の通りとし実施した。

- ①医療従事者(感染者との接触機会が最も多いため)
- ②集団生活を営んでいる寮生(集団感染の危険性が高いため)
- ③大学運営管理者(学長、法人事務局長、大学事務局長)
- ④学部・所属課責任者
- ⑤その他

最終的には、予定していたすべての対象者に実施した。

f) 教職員インフルエンザ集団感染について

平成29年12月24日から26日にかけて、教職員のインフルエンザ集団感染が発生したため、急遽、12月26日を全学的に臨時休業とし、年末年始の一斉休校に入る措置をとった。また、平成30年2月9日、感染者の部署内での濃厚接触の可能性が高いと判断された職員に対し、抗インフルエンザ薬の予防内服措置をとったことを報告した。職場における集団感染を予防するために、個人の感染予防行動だけでなく、症状を有する教職員が体調不良をおして出勤することのないよう、啓蒙活動を行うことが必要である。健康安全センターだけでなく、各所属長も教職員の体調に留意し、適切な指導を行っていくよう働きかけた。

g) 抗体検査の受検について

健康安全センターの職員は健康安全センターの予算により受検することとした。

h) 健康診断未受診者及び診断結果未提出者について

法令の趣旨を踏まえ、衛生委員長から一斉メールにより健康診断の受診について改めて依頼した。また、全学運営会議において、健康診断を受診することの必要性を再度周知した上で、必要に応じて所属長から個別に指導することとした。

(3) 自己点検・評価委員会

この委員会の下には、IR推進部会、コンプライアンス推進部会、認証評価準備部会の3つの部会を備えている。この委員会では大学運営の現状を正しく認識するとともに、将来を見据えて、的確な対応を探ろうとしている。

この委員会独自の課題としては、①自己点検・評価報告書、②アニュアル・レポート(以下AR)、及び③学生版ARの作成がある。

①例えば第三者評価を受審する場合には、毎年発行される本学独自の構成による自己点検・評価報告書を改編することによって対応ができると考えている。②またARは年間活動PDCAサイクルのDに対応する部分をまとめたものである。これは各種アンケート調査等の基礎データにも成りうるもので、科学的な分析を行う上では必須の内容になっている。③学生版ARは、学生の勉学活動、ゆめを含む地域ボランティア活動、クラブ活動、就職活動など多面的に捉え、学生の成長を把握するために編集されている。

どの冊子も当初予定よりは大きくずれ込む傾向が続いており、何らかの手を打たなければ、こうしたデータや分析を次年度に生かすことが出来なくなってしまうため、結果的には出版することだけが自己目的になり下がってしまう恐れがある。

1) IR推進部会

2017(平成29)年度は、入試広報関連の分析が必要となり、各学部の学部長、学科長、入試広報担当者などを中心として、旺盛な情報収集とその解析が行われた。実際の受験生の動向においては、特に成績上位者で複数受験をしている集団の中では、こちらの推測を上回る動きが見られたため、若干の取りこぼしがあったように思われる。

IRは今後の大学経営にとって、重要な位置を占めてくると考え、次年度からはIR委員会として独立させようと考えている。

2) コンプライアンス推進部会

年度頭書に強調しておくべき事項であると意識して、4月2日(月)の辞令交付式の後に実施された合同教授会において、学長からコンプライアンスに対する意識を啓発した。特に「研究活動における不正行為への対応に関する規程」「公的研究費の管理・監査のガイドライン」に基づいて、全教員から各自が署名した誓約書を管理課に提出してもらうようにした。このこと自体は恒例になって来ており、各教員の心構えも定着してきていると思われる。

3) 認証評価準備部会

この部会の主要な任務は、本学における今後の認証評価受審に関する準備(評価事項の変遷とその分析を含む)並びに本学が推薦・指名した評価員による他大学の認証評価活動の実施となっている。

この内、準備に関してはシラバスの記載方法、各種会議の議事録の書き方など改善を加えた方がよい項目についての検討がなされた。また、複数の教職員が他大学に赴いて認証評価活動に携わった。このことを通じて、最新の評価基準について理解を深める機会に恵まれたと言える。

(4) 人権委員会

人権委員会には、ハラスメント防止部会と個人情報保護部会の2部会があり、それぞれの部会を運営している。委員会の構成メンバーは、教員が各学部学科から10人、職員は学生課、教務課、管理課、情報センター、キャリアセンターなどの各部署から10人の合計20人である。教員は、ハラスメント防止部会と個人情報保護部会の2部会を共に担当しているが、職員の方は両部会に分かれて担当している。

1) ハラスメント防止部会

ハラスメント防止部会では、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、アカデミック・ハラスメントまたはこれらに類する人権侵害の言動対し、その防止と排除を目的として活動している。主要な活動内容としては研修活動並びに相談業務などである。平成29年度の相談業務は4件であった。この4件の内訳は、学生から1件、教職員から3件であった。いずれも速やかに相談に応じ適切な対応をとることにより、正式な申し立てには至らず解決することができた。

2) 個人情報保護部会

本部会は、近時の高度情報通信社会の進展に伴い、個人情報の利用が著しく拡大していることに鑑み、教育機関として、個人情報の適正な収集、利用管理および保存を図り、故人の権利利益の保護を目的として活動している。この活動は、個人情報保護に関する関係法令および学内規程に基づいたものである。部会は必要に応じて不定期に開催することとしている。なお平成29年度は、個人情報に関する相談はなかった。

(5) 健康安全センター運営部会

健康安全センターの稼働8年目を迎え、学生の健康の維持増進、安全な学習環境の充実を図ってきた。

① 学生の健康管理

a) 学生健康診断

H29. 4. 4、6～8: 学生定期健康診断 1,919名

H29. 4.17～19: 学生定期健康診断 尿再検査 141名

H29. 4.24～: 胸部レントゲン検査 要精密検査該当学生保健指導(3名)

医師診察・尿検査 要精密検査該当学生保健指導(14名)

b) 学校感染症抗体検査

H29.4. 4、6～8: 563名 結果返却・事後指導

c) 保健師対応

H29. 4. 1～H30. 3.31 学生利用 実人数342名/延べ人数560名

急病・外傷などの応急手当、感染症発生対応、心身の健康相談など
医療機関移送 13件(健康安全センター)

※保護者相談対応 実人数10名/延べ人数13名

※来学者(入試・キャンパス見学会など)対応 実人数4名/延べ人数4名

d) カウンセラー対応

H29. 4. 1~H30. 3.31 学生利用 実人数15名/延べ人数33名

②学生への健康教育

H29.5.15 人間健康学部1年生 地域社会と大学教育「タバコ ～それでも吸いますか」
「外傷の応急手当」

H29.5.25 総合経営学部 1年生 地域社会と大学教育「タバコ ～それでも吸いますか」

H29.6.16 健康栄養学科1年生 「大学生のメンタルヘルス」

H29.6.19、21 地域づくり考房「ゆめ」 「熱中症と外傷の応急手当」

H29.12.1 健康栄養学科1年生「管理栄養士・栄養士になる皆さんへ(他職種連携)」

H29.12.5 総合経営学部1年生「知っておきたい外傷の応急手当」「感染症について」

※心肺蘇生講習については別記。

③救護対応

オープンキャンパス(4/23、5/21、7/23、8/6、8/20、9/24、3/21)

H29.10.13~10.15 梓乃森祭

H29.11.4 AO入試

H29.11.11、12 推薦前期入試

H29.12.9、10 総合経営学部・短期大学部 推薦・編入他入試

H30. 1.13、14 大学入試センター試験

H30.2.3、4 一般A入試

H30.2.23 学部一般B入試

H30.3.2 短期大学部一般B入試

H30.3.14 学部一般C入試

H30.3.20 短期大学部一般C入試

④安全な学習・就業環境の整備

a) AED(自動体外式徐細動器)の整備

- ・日常点検の徹底
- ・消耗品等適宜整備

b) 救急箱の整備・貸し出し

H29. 4. 1~H30. 3.31 貸し出し実績 13件

⑤感染症対応

a) インフルエンザ

- ・松本大学インフルエンザ危機対策本部の設置
- ・学内感染者の把握・情報収集

H29.4.1~H30.3.31 インフルエンザ感染報告・登校禁止措置
学生67件・教職員4件

- ・感染拡大防止対策

- i) 発症者からの連絡に基づき、濃厚接触者への注意喚起。
- ii) インフルエンザ予防接種の実施

H29.12.2～ 教職員87名・学生91名（強化部・重点部）

・ 広報活動

感染拡大時に教職員一斉メールにて状況を周知、注意喚起。

・ 緊急対応

H29.12.25 教員3名、職員11名に集団発生。

感染拡大予防のため、感冒症状確認し感染が疑われる教職員に対し医療機関受診対応。

H29.12.26は臨時休校とした。

H30.2.9 入試広報室にて感染を確認。入試広報室職員に対しタミフルの予防内服対応。

b) 水痘 学生感染者1名

事後報告であったため、ゼミ担当教員・学科教員へ感染拡大予防について周知。

⑥学生寮の衛生管理

a) 松球寮（硬式野球部）、あずさ寮（女子ソフトボール部）の厨房における食中毒原因菌のテスト結果管理

b) あずさ寮調理員の検便管理

c) 松球寮、あずさ寮の寮食メニューのチェックおよびアドバイス

⑦心肺蘇生法啓蒙活動

学生対象 心肺蘇生法講習会

H29.6.27、30 地域づくり考房「ゆめ」

H29.9.19 学校教育学科 1年生

H29.12.12 総合経営学科 1年生

H29.12.19 観光ホスピタリティ学科 1年生

⑧学会・研修

H29.7.28 PEARS小児救急講習（京都市：京都みやこラボ）

H29.7.29～30 ACLS二次救命処置講習（更新）（京都市：京都みやこラボ）

H29.8.31～9.1 第55回全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会研究集会

（千葉市・千葉市文化センター）

H29.11.8 産業保健研修会 改正労働安全衛生規則について（松本安全衛生センター）

⑨全国大学保健管理協会

H25.4.1～ 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会 保健看護分科会 運営委員に保健師が就任

H29.8.31 運営委員会（千葉市文化ホール）

H29.9.14 運営委員会（東邦大学）

H30.1.24 運営委員会（東京学芸大学）

⑩会議

健康安全センター運営委員会（8/3）

(6) 施設管理センター運営委員会

平成29年度の主な施設設備整備事業は次のものであった。

①教育学部設置に伴う第3学生駐車場造成工事

長野県からの教育学部設置に係る補助金を原資として進め、平成30年3月に造成工事を完了した。

49,680千円

- ②既存の学生駐車場のゲートシステムの改修
第3駐車場の整備に合わせ、既存の第1・2駐車場のゲートシステムを統一する改修工事を平成30年3月に完了した。16,820千円
- ③野球グラウンドLED投光器設置工事
硬式野球部の練習時間確保のための懸案となっていた照明の設置について、最近商品化された軽量のLED投光器により対応した。8,100千円
- ④総合グラウンド及びテニスコートの人工芝の一部張替工事
磨耗が進んでいる箇所の部分張替えによる補修工事を行った。4,800千円
- ⑤3号館学生食堂（ラウンジ）の雨漏り補修工事
3号館屋上の防水劣化に対応する防水補修工事を行った。1,890千円
- ⑥3号館学生食堂（ラウンジ）の床面の張替え工事
ラウンジの劣化が進んだ床面の全面張替工事を行った。2,500千円
- ⑦7号館教職センターの整備
教職課程履修者の増加を踏まえ、4号館学生センター内にあった教職センターを7号館に新たに整備した。2,500千円

(7) 危機管理委員会

現在社会において大学に求められるリスクマネジメントの対象になる事象は、非常に広範囲にわたるものである。全体を俯瞰すると、①大規模災害時への対処、②インターネット社会における情報セキュリティの確保、③研究倫理の定着とコンプライアンス、④キャンパスの安全確保とハラスメント対策に大別できる。これらの課題に対する具体的な取り組みは、各分野を管轄する各委員会と各部会で進められている。ここでは、各分野に対する本学としての全体方針を示す。

①大規模災害への対処

大学COC事業において、松本広域消防局、新村地区消防団と連携し、防災対策を推進していく。定期的に防災訓練を実施し、有事に備える。また、防災士養成講座の開講と正課授業をリンクさせ、防災・減災教育に取り組む。さらに、災害時に対応できる機器備品の整備も継続的に進める。

②インターネット社会における情報セキュリティの確保

情報センター運営委員会と情報センターの職員による専門性の高い取り組みにより、サーバーの学外移転、キャンパス・セキュリティ対策を計画的かつ迅速に進めていく。また、全教職員が学校法人松商学園情報セキュリティ・ポリシーに基づき、本学の情報資産を保護し、情報セキュリティの適正な管理を遂行していく。

③研究倫理の定着とコンプライアンス意識の啓発

研究倫理に関する諸規定の見直しを進め、我が国の研究倫理のガイドラインに沿うものとして整備した。また、全教職員に対して、研究倫理に関する研修の機会を提供し、高次の研究倫理観の醸成とその啓発を継続的に取り組んでいく。また、学校法人松商学園コンプライアンス推進規程及び学校法人松商学園コンプライアンス行動規範の遵守を推進する。

④キャンパスの安全確保とハラスメント対策

既に整備している学内管理下の事故防止策や損害賠償責任に対する保険、実験・実習の安全管理と傷害保険等の点検をする。また、校舎、校地内の危険箇所の点検を進める。学生の通学時の車輛（バイクを含む）事故の防止に向けた安全教育に取り組む。現在、運用しているキャンパスハラスメント防止体制を再点検するとともに、全教職員に対して、キャンパスハラスメントを防止する意識を啓発するための研修の機会を定期的に設定していく。

1) 環境保全部会

活動実績

- ①古紙・段ボール等の資源回収は障がい者就労支援事業所の第2コムハウスと契約して発生量に合わせ

- て回収している。また、エコ・キャップは常時学内で回収する専用の箱を設置している。
- ②学内の行事の際、資源回収、環境保護の観点に留意するように働きかけている。
 - ③太陽光発電を導入して3年が経過し、契約電力量を上回る状態は回避できた。併せて大学全体の1年間の電気使用量は概ね現状維持であり経費削減までには至らなかった。

2) 防災防犯対策部会

活動実績

- ①防災訓練の実施(7月と11月) 11月においては新村地区との合同訓練
：実際の発生に近い設定による防災訓練を試みる観点から、昨年を踏まえ新村地区における第一次避難場所(町会公民館)と指定避難場所(松本大学グラウンド)との避難経路の確認と本学学生の役割の検証を行った。
- ②防災士養成講座(日本防災士機構)開講
：10月21日(土)・22日(日) 受講者107名(一般94名・学生13名)
- ③防災士養成における正課授業への開講準備
- ④防災対策 先進地視察 松山市消防局地域防災課
：6月29日(木)～7月1日(土) 愛媛大学防災情報研究センター
主に防災士のフォローアップ組織運営、研修内容等の情報収集と実態把握
- ⑤「松本大学及び松本大学松商短期大学部 防火・防災に係る消防計画」精査